

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi-Scaduto's papers

丹下基生：筑波大学

2021/3/31

目次

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

- 1 Equivariant aspects of singular instanton Floer homology
- 2 Chern-Simons functional, singular instantons, and the four-dimensional clasp number

の内容説明。

§1 導入

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

動機

$K \subset Y$: ホモロジー球面内の結び目
(Y, K) 上の特異接続全体の空間のホモロジーを考える。

$\leadsto (Y, K)$ の情報が出てくる

S^1 作用をもつ特異接続のモジュライ空間を考えること。

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$K \subset Y$: ホモロジー球面内の結び目

$E \rightarrow Y$: trivial $SU(2)$ 接続 K で singular

$p \in K$: base point

K の meridian γ に沿ったホロノミー $Hol_\gamma(A)$ が

$$\begin{bmatrix} i & 0 \\ 0 & -i \end{bmatrix} \in U(1) \subset SU(2)$$

の共役に漸近するもの as $\epsilon = \text{diam}(\gamma) \rightarrow 0$ 。

framed singular connection

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

framed singular connection

$\tilde{\mathcal{C}}(Y, K)$: framed singular connection は以下。
 $p \in K$ において E の自明化をもち、
 K の p でのホロノミーが、

$$\begin{bmatrix} i & 0 \\ 0 & -i \end{bmatrix}$$

に漸近するもの。

$\tilde{\mathcal{G}}(Y, K)$: framed singular connection の Aut
 $\tilde{\mathcal{B}}(Y, K) = \tilde{\mathcal{C}}(Y, K) / \tilde{\mathcal{G}}(Y, K)$ (自由作用)
framed singular connection のゲージ同値類。

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$\tilde{\mathcal{B}}(Y, K)$ は起点 $p \in K$ で framing を変える S^1 作用をもつ .
stabilizer が存在する

$$\begin{cases} \text{自由} & \text{irreducible} \\ \text{stabilizer をもつ} & S^1\text{-reducible} \end{cases}$$

S^1 -reducible : E が 2 つの直線束の直和に分解する)
これ以降 $\tilde{\mathcal{B}}(Y, K)$ は登場しない。

$\mathcal{S}$ -複体

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$$(\tilde{C}(Y, K), \tilde{d})$$

$\mathbb{Z}[\chi]/(\chi^2)$ 上の加群 $(H^*(S^1)$ のコホモロジー環)

$$(\tilde{C}(Y, K), \tilde{d}) = C(Y, K) \oplus C(Y, K)[1] \oplus \mathbb{Z}$$

$$\chi(a, b, c) = (0, a, 0)$$

$\tilde{C}(Y, K)$ は R -計量などに依るが、 $\mathcal{S}$ -複体のチェインホモと
びー同値類は (Y, K) の不変量

$$\tilde{I}_*(Y, K) = H_*(\tilde{C}(Y, K))$$

$$\tilde{I}_*(Y, K) \cong I_*^{\natural}(Y, K) \quad (\text{KM's } I^{\natural})$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

定理

$K \subset Y$: 結び目

$$\chi(I_*(Y, K)) = 4\lambda(Y) + \frac{1}{2}\sigma(K)$$

$\hat{C}_*(Y, K) = \tilde{C}(Y, IK) \otimes_{\mathbb{Z}} \mathbb{Z}[x]$, $\hat{d} = -\tilde{d} + x - \cdot \chi$
とする。

$\tilde{\mathcal{B}}(Y, K)$ の S^1 -同変ホモロジー

($\mathbb{Z}/4$ -grading をもつ)

$\check{I}_*(Y, K)$, $\bar{I}_*(Y, K)$, $\tilde{I}_*(Y, K)$ などの変種があり、これらの間に exact triangle がある。

これらは Heegaard Floer homology の

$HFK^+(Y, K)$, $HFK^\infty(Y, K)$, $\widehat{HFK}(Y, K)$ のアナロジー

係数拡大

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所系係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$$\mathcal{R} = \mathbb{Z}[U^{\pm 1}, T^{\pm 1}]$$

上で定義される局所系 Δ を考えることができる。
ここで、

- $T \cdots$ knot 周りの flat connection の holonomy (instanton の monopole charge)
- $U \cdots$ flat connection の CS-func (topological charge)

を表す。

係数の変更

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$ ゲージ理論の 復習

§3 フレアホモ ロジー

§4 特異インス タントン同変 不変量

§5 同変不変量

§7 局所係係 数・フィルト レーション

§8 KM のホモ ロジーとの 関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$\mathcal{S} : \mathcal{R}$ -代数とする

$\tilde{C}(Y, K, \Delta_{\mathcal{S}})$ は、 $\mathcal{S}$ 上の S -複体

$\leadsto I_*(Y, K, \Delta_{\mathcal{S}})$ は $\mathcal{S}$ -module

$\leadsto \hat{I}_*(Y, K, \Delta_{\mathcal{S}})$ は $\mathcal{S}[x]$ -module

example

$\mathcal{S} = \mathbb{Z}[T^{\pm 1}] : \mathcal{R}$ -代数をとれば、 $U = 1$ として得られる S -複体 $\tilde{C}(Y, K, \Delta_{\mathcal{S}}, \tilde{d})$ が得られる。

Kronheimer-Mrowka の不変量

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所系係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

Kronheimer-Mrowka: Instantons and Bar-Natan homology,
KM: Khovanov homology is an unknot-detector

KM: Gauge theory and Rasmussen's invariant

$I^{\natural}(Y, K)$: reduced invariants

$\leadsto \mathbb{F}[T_1^{\pm 1}, T_2^{\pm 1}, T_3^{\pm 1}]$ を係数とする局所系係数ホモロジー

$I^{\#}(Y, K)$: unreduced invariants($\mathbb{Q}[T^{\pm 1}]$ 上の module)

$\leadsto \mathbb{F}[T_0^{\pm 1}, T_1^{\pm 1}, T_2^{\pm 1}, T_3^{\pm 1}]$ を係数とする局所系係数ホモロジー

$I^{\natural}$ と $I^{\#}$ は $\mathcal{R}[x]$ 上の chain complex $(\hat{C}(Y, K, \Delta), \hat{d})$ から導き出される。

定理

$$I^{\natural}(Y, K) = \tilde{I}(Y, K)$$

KM の不変量

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所系係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

定理

$\mathbb{F}[T_1^{\pm 1}, T_2^{\pm 1}, T_3^{\pm 1}]$ を $\mathcal{T}[x]$ -加群として、

$T \mapsto T_1, x \mapsto P$, where

$$P = T_1 T_2 T_3 + T_1^{-1} T_2^{-1} T_3 + T_1^{-1} T_2 T^{-1} + T_1 T_2^{-1} T_3^{-1}$$

$I^{\natural}(Y, K)$ の局所系係数は

$$\hat{I}(Y, K, \Delta_{\mathcal{T}}) \otimes_{\mathcal{T}[x]} \mathbb{F}[T_1^{\pm 1}, T_2^{\pm 1}, T_3^{\pm 1}]$$

に同型。

$\mathbb{F}[T_0^{\pm 1}, T_1^{\pm 1}, T_2^{\pm 1}, T_3^{\pm 1}]$ を $\mathcal{T}[x]$ -加群として、

$T \mapsto T_0, x \mapsto P$ として、

$I^{\#}$ の方の局所系係数は

$$\hat{I}(Y, K, \Delta_{\mathcal{T}}) \otimes_{\mathcal{T}[x]} \mathbb{F}[T_0^{\pm 1}, T_1^{\pm 1}, T_2^{\pm 1}, T_3^{\pm 1}]^{\oplus 2}$$

に同型

Sasahira invariant との関係

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$\mathbb{F}_4 = \mathbb{F}[x]/(x^2 + x + 1) : \mathcal{R}\text{-代数}$

where $T \mapsto x$

定理

$$I_*(K_{p,q}, \Delta_{\mathbb{F}_4}) \cong I_*(L(p, -q)) \otimes \mathbb{F}_4$$

ここで $\Delta_{\mathbb{F}_4}$ は $\Delta \otimes \mathbb{F}$ から

$$f : \mathbb{F}[U^{\pm 1}, T^{\pm 1}] \rightarrow \mathbb{F}_4$$

を

$U \mapsto 1, T \mapsto x$ によって得られる写像

結び目のホモロジーコンコードانس不変量

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$K \subset Y, K' \subset Y'$ がホモロジーコンコードアント

$\stackrel{\text{def}}{\Leftrightarrow} W : Y \rightarrow Y'$; ホモロジーコボルディズム

$S \subset W$ がシリンダーかつ $\partial S = -K \cup K'$ である。

$\mathcal{C}_{\mathbb{Z}}$: ホモロジー球面内の結び目のコンコードانس類
 $\mathcal{T}$ を $\mathcal{R}$ 代数

特異フレアホモロジーの理論を用いて、準同型

$$h_{\mathcal{T}} : \mathcal{C}_{\mathbb{Z}} \rightarrow \mathbb{Z}$$

が定義できる。

定理

$\mathcal{T}$ を $\mathcal{R}$ 代数とする。このとき、 $h_{\mathcal{T}}(Y, K)$ が定義できて、

- $h_{\mathcal{T}}(Y \# Y', K \# K') = h_{\mathcal{T}}(Y, K) + h_{\mathcal{T}}(Y', K')$
- (W, S) が *negative definite pair* なら、

$$h_{\mathcal{T}}(Y, K) \leq h_{\mathcal{T}}(Y', K')$$

が成り立つ。

(W, S) が *negative deifnite pair*

$\stackrel{\text{def}}{\Leftrightarrow} (W, S) : (Y, K) \rightarrow (Y', K') : \text{コボルディズムかつ}$

$H_1(W, \mathbb{Z}) = 0$ 、かつ、 $H_2(W, \partial W)$ で $4[S]$ であり、 W の
double cover が *negative definite*

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$\mathcal{T} = \mathbb{Z}, \mathbb{Z}[T^{\pm 1}]$ の場合に焦点をあてる。 $h_{\mathbb{Z}}(Y, K) = h(Y, K)$ 、
 $h_{\mathcal{T}}(S^3, K) = h_{\mathcal{T}}(K)$ とかく。

定理

- 全ての 2-bridge knot は $h = 0$
- $h_{\mathcal{T}}(3_1) = 1$
- $h(T(3, 4)) = h(T(3, 5)) = 1$
- いくつかのトーラス結び目は $h = 0$ となる

Daemi の方法

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

CS-filtration を用いて関数

$$\Gamma_{(Y,K)}^R : \mathbb{Z} \rightarrow \mathbb{R}^{\geq 0} \cup \{\infty\}$$

を割り当てる。 $R : \mathbb{Z}[T^{\pm 1}]$ 上の代数となるような整域

定理

$(Y, K) : \text{ホモロジー球面内の結び目}$

- 1 $\Gamma_{(Y,K)}^R$ はホモロジーコンコードانس不変量
- 2 $\forall i \in \mathbb{Z}$ に対して $\Gamma_{(Y,K)}^R(i) < \infty \Leftrightarrow i \leq h_R(Y, K)$
- 3 $\forall i \in \mathbb{Z}$ に対して、 $\Gamma_{(Y,K)}^R(i) \notin \{0, \infty\}$ ならその値は、
 (Y, K) 上の既約な特異 $flatSU(2)$ 接続 CS 汎関数の値と一致する

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

問題

イデアル列から作って不変量 $\{J_i^T(Y, K)\}_{i \in \mathbb{Z}}$ と KM の不変量は関係あるか？

$g_4(K) = -\sigma(K)$ の結び目なら正しい

KM との関係が分かる Dami-Scaduto のある提案

§2 特異 $SU(2)$ ゲージ理論の復習

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

Y : ホモロジー球面

$K \subset Y$: 結び目

$E \rightarrow Y$: rank=2 エルミート v.b (構造群は $SU(2)$)

$$E|_K = L \oplus L^*$$

$L \rightarrow K$: K 上のエルミート直線束

$K \subset S^1 \times D^2$: K の近傍

$D^2 \ni (r, \theta)$: 極座標

$$\lambda_0 = b(r) \frac{1}{4} id \theta$$

ここで、

$b(r)$: bump 関数 $b(r) = 1 (r < 1/2), b(r) = 0 (r > 1)$

$$\lambda_0 \in \Omega^1(Y - K, i\mathbb{R})$$

$B_0 = \lambda_0 \oplus \lambda_0^*$ は $E|_{Y-K}$ 上の接続

B_0 の K の周りのホロノミーは $\mathbb{Z}/4$ に値を持つ。

B_0^{ad} を $\mathfrak{g}_E = P \times_{ad} \mathfrak{su}(2)$ (adjoint bundle) 上の接続とする

B_0^{ad} のホロノミーは $\mathbb{Z}/2$ 。

$$\mathcal{C}(Y, K) = B_0 + \check{L}_{k, B_0^{ad}}^2(\check{Y}, \check{\Lambda}^1 \otimes \check{\mathfrak{g}}_E)$$

$$\mathcal{G}(Y, K) = \check{L}_{k+1, B_0^{ad}}^2(\check{Y}, \text{Aut}(\check{\mathfrak{g}}_E))$$

$$\mathcal{B}(Y, K) = \mathcal{C}(Y, K) / \mathcal{G}(Y, K)$$

Chern-Simons 汎関数

$$CS : \mathcal{C}(Y, K) \rightarrow \mathbb{R}$$

$$(\text{grad} CS)_B = \frac{1}{4\pi^2} * F_B$$

$$CS(B) - CS(g(B)) = 2k + l$$

$$\leadsto CS : \mathcal{B}(Y, K) \rightarrow \mathbb{R}/\mathbb{Z}$$

(constant を除いて)

下の θ において $CS(\theta) = 0$ としておけばこの ambiguity は除ける。

$$d : \pi_0(\mathcal{G}(Y, K)) \xrightarrow{\cong} \mathbb{Z} \oplus \mathbb{Z}$$

$$d(g) = (k, l)$$

$$\mathcal{G}(Y, K) \cong \text{Map}((Y, K), (SU(2), U(1)))$$

$$k \in [Y, SU(2)] \cong \mathbb{Z}, l \in [K, U(1)] \cong \mathbb{Z}$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$\mathfrak{C} \subset \mathcal{B}(Y, K) : \text{flat 接続の同値類}$
 $\mu : K \text{ の meridian loop}$

$$\mathcal{X}(Y, K) = \{\rho : \pi_1(Y \setminus K) \rightarrow SU(2) \mid \text{tr}(\rho(\mu)) = 0\} / SU(2)$$

$\theta \in \mathcal{B}(Y, K) : \text{flat reducible } (\mathcal{G}_\theta = U(1) : \text{stabilizer})$

$\theta : \pi_1(Y \setminus K) \rightarrow SU(2) \text{ を}$

$\text{Hol}(\theta) = \{\pm 1, \pm i\} \subset SU(2) \text{ を満たす唯一の共役元}$

$$\pi_1(Y \setminus K) \rightarrow H_1(Y \setminus K) \rightarrow U(1) \subset SU(2)$$

のように factorize する。

$\theta \in \mathfrak{C}$ は、孤立かつ non-degenerate

flip symmetry

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$\xi : Y \setminus K$ 上の -1 をホロノミーをもつ接続 over $\mathbb{Z}/2$ -bundle
(KM の embedded surface の Lemma 2.12)

$\xi \in H^1(Y \setminus K, \mathbb{Z}/2)$ (generator)

$\iota : \mathcal{B}(Y, K) \rightarrow \mathcal{B}(Y, K)$

を $\iota[B] = [B \otimes \xi]$

つまり、ホロノミーについて

$\rho : \pi_1(Y \setminus K) \rightarrow SU(2)$ に対して、

$\rho \mapsto \rho \cdot \chi_\mu$ となる。

ここで $\chi_\mu : \pi_1(Y \setminus K) \rightarrow \{\pm 1\}$

$\alpha \in \mathcal{C}$ において ι で保たれることと α が $\mathcal{X}(Y, K)$ において、
binary dihedral in $SU(2)$ に共役であることは同値である。

binary dihedral $S^1 \cup S^1 \cdot j$, where $j = \begin{pmatrix} 0 & i \\ i & 0 \end{pmatrix}$

臨界点の摂動

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$q : S^1 \times D^2 \rightarrow Y \setminus K$ smooth immersion

$z \in D^2$ に対して $q(-, z)$ は、path in $Y \setminus K$

$B \in \mathcal{C}(Y, K)$ に対して、 $Hol_{q(-, z)}(B) \in (G_E)_{q(0, z)}$ よって、
 $G_E \rightarrow Y$: bundle で

$\Gamma(G_E) \subset \mathcal{G}(Y, K)$

$q^*(G_E) : D^2$ 上の bundle

$\leadsto Hol_q(B) : D^2$ 上の q^*G_E の section

$\mathbf{q} = (q_1, \dots, q_r) : \text{immersion の tuple } (\exists \eta > 0 \text{ st } [-\eta, \eta] \times D^2$
上で一致する)

$q_j(G_E)$ は $[-\eta, \eta] \times D^2$ で同型

$Hol_{\mathbf{q}}(B) : D^2$ 上の bundle $q_1^*(G_E^r)$ の section

$h : SU(2)^r \rightarrow \mathbb{R} : \text{diagonal adjoint action 不変な滑らかな関数}$

$B \in \mathcal{C}(Y, K)$ に対して、シリンダー関数を次のように定義

$$f_{\mathbf{q}}(B) = \int_{D^2} h(\text{Hol}_{\mathbf{q}}(B)) \mu$$

$\mu : D^2$ 上の non-negative 2-form $\int_{D^2} \mu = 1$

$$f_{\mathbf{q}} : \mathcal{C}(Y, K) \rightarrow \mathbb{R}$$

を与える。 C_i ある列

$\mathcal{P} = \{(a_i) \mid \sum_{i=1}^{\infty} C_i a_i < \infty\}$ の完備化。(Banach 空間)

$(f_{\mathbf{q}_i})$: cylinder func の列

$\pi = (\pi_i) \in \mathcal{P}$ に対して、

$$f_{\pi} := \sum_{i=1}^{\infty} \pi_i f_{\mathbf{q}_i}$$

$\mathcal{P}' \subset \mathcal{P}$ (reducible connection が perturb されないように
する。)

命題

$\exists \mathcal{P} \subset \mathcal{P}' : \text{residual subset}$

十分小さい $\pi \in \mathcal{P}'$

$\mathcal{C}_{\pi}^{\text{irr}}$: perturbed CS-汎関数の既約な臨界点の集合

$\mathcal{C}_{\pi}^{\text{irr}}$ は *finite* かつ *non-degenerate* となる。

$\pi \in \mathcal{P}'$ に対して

$$CS + f_{\pi} : \mathcal{C}(Y, K) \rightarrow \mathbb{R}$$

を perturbed CS-functional という

$M \subset \mathcal{B}(Y, K)$ において $\mathcal{P}'$ において作られた perturbed function は $C^{\infty}(M)$ において dense であるから

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$$Z = \mathbb{R} \times Y$$

$$S = \mathbb{R} \times K$$

Z 上の接続 ($t \in \mathbb{R}$)

$$A = B(t) + C(t)dt$$

$B(t) : Y$ 上の singular $SU(2)$ -connection

$C(t) : \check{L}_k^2(\check{Y}, \check{\mathfrak{g}}_E)$ -切断

$$\alpha_i = [B_i] \in \mathfrak{C}^{irr} \quad (i = 1, 2)$$

$$\hat{V}_\pi(A) = P_+(dt \wedge V_\pi(A))$$

$$V_\pi = \sum_{i=1}^{\infty} \pi_i \text{grad}(f_i)$$

singular instanton on Z

$$F_A^+ + \hat{V}_\pi(A) = 0$$

を満たす A

A_0 : 無限遠点で B_1, B_2 の pull back に一致する $\mathbb{R} \times Y$ 上の singular instanton

A : singular instanton on Z とする (compact set の外側では constant)。

$A \rightsquigarrow \gamma : \mathbb{R} \rightarrow \mathcal{B}(Y, K) : \alpha_1$ から α_2 への道

$z = [\gamma] \in \pi_1(\mathcal{B}(Y, K), \alpha_1, \alpha_2)$

$$\mathcal{C}_\gamma(Z, S, B_1, B_2) = \left\{ A \mid A - A_0 \in \check{L}_{k, A_0^{ad}}^2(\check{Z}, \check{\mathfrak{g}}_E \otimes \check{\Lambda}^1) \right\}$$

$$\mathcal{G}_\gamma(Z, S, B_1, B_2) = \left\{ g \in \check{L}_{k+1, A_0}^2(\text{Aut}(E)) \mid \nabla_{A_0} g \in \check{L}_{k, A_0} \right\}$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$$\mathcal{B}_z(Y, K; \alpha_1, \alpha_2) = \mathcal{C}_\gamma(Z, S, B_1, B_2) / \mathcal{G}_\gamma(Z, S, B_1, B_2)$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$\pi \in \mathcal{P}'$: 摂動

$$M_z(\alpha_1, \alpha_2) = \{[A] \in \mathcal{B}_z(Y, K; \alpha_1, \alpha_2) \mid F_A^+ + \hat{V}_\pi(A) = 0\}$$

$$M(\alpha_1, \alpha_2) = \coprod_{z \in \pi_1(\mathcal{B}(Y, K), \alpha_1, \alpha_2)} M_z(\alpha_1, \alpha_2)$$

$$\check{M}(\alpha_1, \alpha_2) = M(\alpha_1, \alpha_2) / \mathbb{R}$$

このとき、次の grading が定義できる。

$$gr_z(\alpha, \alpha') = \text{ind}(\mathcal{D}_A) = v. \dim(M_z(\alpha_1, \alpha_2)) \in \mathbb{Z}$$

となる。

ASD 方程式の線形化作用素 (with gauge fixing)

$$\mathcal{D}_A : \check{L}_{k, A^{ad}}^2(\check{Z}, \check{\mathfrak{g}}_E \otimes \check{\Lambda}^1) \rightarrow \check{L}_{k-1, A^{ad}}^2(\check{Z}, \check{\mathfrak{g}}_F \otimes (\check{\Lambda}^0 \oplus \check{\Lambda}^+))$$

$$\mathcal{D}_A := -d_A^* \oplus (d_A^+ + D\hat{V}_\pi)$$

$d_A^+ + D\hat{V}_\pi$ が全射の時、 $[A] \in M_Z(\alpha, \beta)$ を **regular** という
任意の $A \in M_Z(\alpha, \alpha')$ に対して regular のとき、 $M_Z(\alpha, \alpha')$ が
regular という。

$M(\alpha_1, \alpha_2)$ は regular ならば $gr_Z(\alpha_1, \alpha_2)$ 次元多様体となる。
 $M_Z(\alpha_1, \alpha_2)_d : gr_Z(\alpha_1, \alpha_2) = d$ となる $M_Z(\alpha_1, \alpha_2)$ の成分
 $\check{M}_Z(\alpha_1, \alpha_2)_{d-1} = M_Z(\alpha_1, \alpha_2)_d / \mathbb{R}$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィル
トレーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所系係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$\alpha_1 \alpha_2$ のどちらからが reducible である場合、

$$M_z(\alpha_1, \alpha_2)$$

$$= \{A \in A_0 + e^{-\epsilon|t|} \check{L}_{k, A_0^{ad}}^2(\check{Z}, \check{\mathfrak{g}}_E \otimes \check{\Lambda}^1) | A : \text{sol of ASD}\} / \text{gauge}$$

とすると、 $\mathcal{D}_A$ が定義できて、

$$gr_z(\alpha_1, \alpha_2) = \text{ind}(\mathcal{D}_A)$$

となる

命題

$\pi_0 \in \mathcal{P}'$ が $\mathfrak{C}_{\pi_0} = \{\theta\} \cup \mathfrak{C}_{\pi_0}^{irr}$ が *non-degenerate* であるような摂動であるとする。この時、 $\exists \pi \in \mathcal{P}'$ が次を満たす。

- $CS + f_{\pi_0}$ の *cp* のある近傍で、 $f_{\pi} = f_{\pi_0}$
- $\mathfrak{C}_{\pi} = \mathfrak{C}_{\pi_0}$
- $M_z(\alpha_1, \alpha_2)$ は、全て *regular*

命題 (コンパクト性)

$\alpha_1, \alpha_2 \in \mathfrak{C}_{\pi}$ としたとき、 $M_z(\alpha_1, \alpha_2)$ の次元が 4 より小さいとき、*unparametrized broken trajectory* の空間 $\check{M}_z^+(\alpha_1, \alpha_2)$ はコンパクト

KM の Proposition 3.22

ここで、unparametrized broken trajectory とは、 $\exists l$ に対して、
 $\alpha_1 = \beta_1, \alpha_2 = \beta_l$ として、
 $\{ \{ [A_i] \}_{i=1}^l \mid A_i \in \check{M}_{z_i}(\beta_i, \beta_{i+1}) \mid i = 1, \dots, l-1 \}$
 $M_z(\alpha_1, \alpha_2)$ の境界。

命題 (コンパクト性)

$d \geq 0$ の時、有限個の $\alpha_1, \alpha_2 \in \mathfrak{C}_\pi$ と z に対して存在して、
 $M_z(\alpha_1, \alpha_2) \neq \emptyset$ かつ $M_z(\alpha_1, \alpha_2) = d$ となる。

$\check{M}(\alpha_1, \alpha_2)_0$ は有限個の点

grading について

Daemi-
Scaduto's
papers

$g \in \mathcal{G}(Y, K)$ に対して、 $d(g) = (k, l)$ とし、
 $z \in \pi_1(\mathcal{B}(Y, K), \alpha)$ を $\alpha \in \mathcal{B}(Y, K)$ に対して、 B から $g(B)$ をつなぐ path とする。

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

$$gr_z(\alpha, \alpha) = 8k + 4l$$

§3 フレアホモ
ロジー

である。(KM の Lemma 3.14)

α_2 : non-degenerate & irre

§4 特異インス
タント同変
不変量

$$gr_{z_{12}}(\alpha_1 \alpha_2) + gr_{z_{23}}(\alpha_2, \alpha_3) = gr_{z_{13}}(\alpha_1, \alpha_3)$$

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

$$z_{13} = z_{23} \circ z_{12}$$

よって、 gr_z は $\mathbb{Z}/4$ にすることで、 z によらない grading

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

$$gr(\alpha) = gr_z(\alpha, \theta) \bmod 4$$

§9 計算例

(absolute grading)

Daemi
Scaduto

α_2 : reducible とする
このとき、

$$gr_{z_{12}}(\alpha_1, \theta) + 1 + gr_{z_{23}}(\theta, \alpha_3) = gr_{z_{13}}(\alpha_1, \alpha_3)$$

命題

$\alpha_1, \alpha_2 \in \mathfrak{C}_{\pi}^{irr}$ に対して、もし、 $M_z(\alpha_1, \alpha_2)$ の次元が 3 より小さいとすると、 $\check{M}_z^+(\alpha_1, \alpha_2)$ は、 θ をとおる *broken trajectories* を持たない。

$[A_1], \dots, [A_{l-1}]$ が N 回 reducible を通るとする。

$$gr_z(\alpha_1, \alpha_2) = \sum_{i=1}^{l-1} gr_{z_i}(\beta_i, \beta_{i+1}) + N \geq l - 1 + N \geq 3$$

より、 $gr_z(\alpha_1, \alpha_2) \geq 3$ でなければならない。

コボルディズム上のモジュライ空間

Daemi-
Scaduto's
papers

シリンダー上の方程式をコボルディズムの場合に拡張する。

Y, Y' ホモロジー球面、 $K \subset Y, K' \subset Y'$ 結び目
コボルディズム

(S において、cone angle π をもつ orb metric をもつ)

$$(W, S) : (Y', K') \rightarrow (Y', K')$$

$S \hookrightarrow W$ (向きづけられた連結な曲面
(K から K' へのコボルディズム)

$\widetilde{W} : W$ の S に沿った二重分岐被覆

$$\alpha \in \mathcal{B}(Y, K) \quad \alpha' \in \mathcal{B}(Y', K')$$

$(W^+, S^+) : (W, S)$ に cylindrical end を付け加えたもの

$A : (W^+, S^+)$ 上の $SU(2)$ -接続で、上側のシリンダーで α, α' の pull back に一致するもの。

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$z : A$ の両側を α, α' に固定した $A \bmod (\text{gauge})$ のホモトピー
クラス

$\mathcal{B}_z(W, S, \alpha, \alpha') : \text{singular connection のゲージ同値類の集合}$

$$M_z(W, S, \alpha, \alpha') \subset \mathcal{B}_z(W, S, \alpha, \alpha')$$

α, α' のどちらかが reducible なら weighted Sobolev 空間を用
いる。

(perturbed)ASD 方程式

$$F_A^+ + \psi(t)\hat{V}_\pi(A) + \psi_0(t)\hat{V}_{\pi_0}(A) = 0$$

のモジュライ空間

$$\psi(t) : \psi(t) = 1(t < 0), \psi(t) = 1(t = 1)$$

$$\psi_0(t) : \text{supp}(\psi_0) \subset (0, 1)$$

generic perturbation をとれば、 d 次元の多様体

$$d = \text{ind}(\mathcal{D}_A) =: \text{gr}_z(W, S, \alpha, \alpha')$$

$$\mathcal{D}_A = d_A^+ + D(\text{摂動項})$$

$$M(W, S, \alpha, \alpha')_d = \cup_{\text{gr}_z(W, S, \alpha, \alpha')=d} M_z(W, S, \alpha, \alpha')$$

$$(W'', S'') = (W', S') \circ (W, S) : (Y, K) \rightarrow (Y', K') \rightarrow (Y'', K'')$$

$$\text{gr}_z(W, S, \alpha, \alpha') + \dim(\text{Stab}(\alpha')) + \text{gr}_{z'}(W', S', \alpha', \alpha'')$$

$$= \text{gr}_z(W'', S'', \alpha, \alpha'')$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

unparametrized broken trajectory

$M_z(W, S, \alpha, \alpha')$ に対して、 $\beta \in \mathfrak{C}(Y, K)$, $\beta' \in \mathfrak{C}(Y', K')$ に対して、

$M_{z_2}(W, S, \beta, \beta')$, $\check{M}_{z_1}^+(\alpha, \beta)$, $\check{M}_{z_3}^+(\beta', \alpha')$
を用いて、

$$z = z_3 \circ z_2 \circ z_1$$

となるもの。

$\check{M}_z^+(W, S, \alpha, \alpha')$ とかく。

energy, monopole number

Daemi-
Scaduto's
papers

$[A] \in \mathcal{B}_Z(W, S, \alpha, \alpha')$ に対して、
(Topological energy)

$$\kappa(A) = \frac{1}{8\pi^2} \int_{W^+ \setminus S^+} \text{Tr}(F_A \wedge F_A)$$

$\kappa(A) \geq 0$ かつ $(\kappa(A) = 0 \Leftrightarrow A \text{ が flat})$

$$2\kappa(A) = CS(\alpha) - CS(\alpha') - \frac{1}{8} S \cdot S \bmod \mathbb{Z}$$

S : divisible by 4 とすると最後の項を無視できる
(Monopole number)

$$\nu(A) := \frac{i}{\pi} \int_{S^+} \Omega$$

ここで、

$$F_A|_{S^+} = \begin{bmatrix} \Omega & 0 \\ 0 & -\Omega \end{bmatrix}$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$S \in H_2(W, \mathbb{Z})$ が 2-multiplicity を持つとき、flip symmetry は W に拡張する。

(flip symmetry)

$$\kappa(\iota A) = \kappa(A), \quad \nu(\iota A) = -\nu(A)$$

(W, S) 上の reducible connection はどのように振る舞うか？

補題

$(W, S) : (Y, K) \rightarrow (Y', K) : \text{コボルディズムとする。}$

$[A] \in \mathcal{B}_Z(W, S, \theta, \theta')$ のとき、

$$\text{ind}(\mathcal{D}_A) = 8\kappa(A) - \frac{3}{2}(\sigma(W) + \chi(W))$$

$$+ \chi(S) + \frac{1}{2}S \cdot S + \sigma(K) - \sigma(K') - 1$$

境界が 1 つだけのもの (X, Σ) とする。

$$[\Sigma] = 0 \in H_2(X, \partial X)$$

$\pi : \tilde{X} \rightarrow X$: double branched cover along Σ

$\tau : \tilde{X} \rightarrow \tilde{X}$: covering transformation

$A_0 : X$ 上の flat connection s.t. $\pi^*(A_0)$ が $\tilde{X}$ 上の trivial conn.

$$((v_1, v_2, v_3), x) \in \mathbb{R}^3 \times \tilde{X} \mapsto ((v_1, -v_2, -v_3), \tau(x))$$

この商は、 X 上の orbifold connection を与える。

計算

$$\ker(\mathcal{D}_{A_0}) \cong H_+^1(\tilde{X}) \oplus H_-^1(\tilde{X})^{\oplus 2}$$

$$\operatorname{coker}(\mathcal{D}_{A_0}) \cong H_+^+(\tilde{X}) \oplus H_-^+(\tilde{X})^{\oplus 2} \oplus H^0(\tilde{X})$$

$$\tau_* : H^i(\tilde{X}) \rightarrow H^i(\tilde{X})$$

$$\tau_*^2 = 1$$

$$\pi_* : H^i(X) \rightarrow H^i(\tilde{X})$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$$\text{ind}(\mathcal{D}_{A_0}) = -(\sigma(\tilde{X}) + \chi(\tilde{X})) + \frac{1}{2}(\sigma(X) + \chi(X)) - \frac{1}{2}$$

K の Seifert surface Σ を $Y \times I \subset W$ に押し込めて考える

$$\sigma(\tilde{X}) = 2\sigma(X) + \sigma(K)$$

$$\chi(\tilde{X}) = 2\chi(X) - \chi(\Sigma)$$

となる。

代入して、

$$\text{ind}(\mathcal{D}_{A_0}) = -\frac{3}{2}(\sigma(X) + \chi(X)) - \sigma(K) + \chi(\Sigma) - \frac{1}{2}$$

(Y', K') を向きを逆にして、同じように (X', Σ') を用意する。

$$\text{ind}(\mathcal{D}_{A'_0}) = -\frac{3}{2}(\sigma(X') + \chi(X')) + \sigma(K') + \chi(\Sigma') - \frac{1}{2}$$

(X, Σ) と (W, S) と (X', Σ') をくっつけることで
closed pair $(\overline{W}, \overline{S})$ 上の connection $\overline{A}$ が得られる。
 $\kappa(A) = \kappa(\overline{A}), \nu(\overline{A}) = \nu(A)$

$$\text{ind}(\mathcal{D}_{\overline{A}}) = \text{ind}(\mathcal{D}_{A_0}) + \text{ind}(\mathcal{D}_A) + \text{ind}(\mathcal{D}_{A'_0}) + 2$$

Closed case(KM: Gauge theory for embedded surfaces I)

$$\text{ind}(\mathcal{D}_{\overline{A}}) = 8\kappa(\overline{A}) + 4\nu(\overline{A}) - 3(b^+(\overline{W}) - b^1(\overline{W}) + 1) + \chi(\overline{S})$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$$ind(\mathcal{D}_A) = ind(\mathcal{D}_{\bar{A}}) - (ind(\mathcal{D}_{A_0}) + ind(\mathcal{D}_{A'_0})) - 2$$

$$= 8\kappa(A) + 4\nu(\bar{A}) - \frac{3}{2}(\sigma(\bar{W}) + \chi(\bar{W})) + \chi(\bar{W})$$

$$+ \frac{3}{2}(\sigma(X) + \chi(X)) + \sigma(K) - \chi(\Sigma) + \frac{1}{2}$$

$$+ \frac{3}{2}(\sigma(X') + \chi(X')) - \sigma(K') - \chi(\Sigma') + \frac{1}{2} - 2$$

$$= 8k(A) + 4\nu(A) - \frac{3}{2}(\sigma(W) + \chi(W)) + \chi(S) + \sigma(K) - \sigma(K') - 1$$

$$4\nu(A) = \frac{1}{2}S \cdot S?$$



§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

命題

(W, S) : コボルディズム

$\pi : \tilde{W} \rightarrow W$: *double branched cover*

A : *singular connection on (W, S)*

$\pi^* A^{ad}$ が *regular* なら A も *regular*

特に、 $\pi^*(A^{ad})$ が *trivial* かつ $b^+(\tilde{W}) = 0$ なら A は *regular*

$$\text{coker}(d_A^+) = b_+^+ + 2b_-^+$$

$H_1(W, \mathbb{Z}) = 0, b(W) = 0$ を仮定する。

$S \subset W$: orientable, genus = g

$[S]$: multiplied by 4 $M_z(W, S, \theta, \theta')$ の reducible ele は、
 $L \rightarrow W$: a $U(1)$ -bundle

の同型類と同じ。

(reducible singular connection)

$A_L = \eta \oplus \eta^*$ とおく。

η : reducible ASD conn on $W^+ \setminus S^+$ 上の L に定義される
 S の meridian に沿った holonomy $\rightarrow i$ as $\epsilon \rightarrow 0$

ここで、

$$\kappa(A_L) = -(c_1(L) + \frac{1}{4}S) \cdot (c_1(L) + \frac{1}{4}S)$$

$$\nu(A_L) = 2(c_1(L) + \frac{1}{4}S) + \frac{1}{2}S \cdot S$$

$c_1(L) + \frac{1}{4}S$: non-torsion なら $\kappa(A) > 0$ であるから、

$H_1(W, \mathbb{Z}) = 0$ なら $H^2(W, \mathbb{Z})$ は non-torsion

$\Rightarrow \kappa(A_L) = \nu(A_L) = 0$ となる reducible instanton が唯一存在。

$b_1(W) = 0, b_2^+(W) = 0$ より、 $\sigma(W) + \chi(W) = 0$
また、

$$\sigma(\tilde{W}) = 2\sigma(W) - \sigma(K) + \sigma(K') - \frac{1}{2}S \cdot S$$

$$\chi(\tilde{W}) = 2\chi(W) - \chi(S)$$

より、

$$\text{ind}(\mathcal{D}_{A_L}) = 8\kappa(A_L) - 2g + \frac{1}{2}S \cdot S + \sigma(K) - \sigma(K') - 1$$

$$= 8\kappa(A_L) - (\chi(\tilde{W}) + \sigma(\tilde{W})) + 2(\chi(W) + \sigma(W)) - 1$$

$$= 8\kappa(A_L) + 2(b_1(\tilde{W}) - b^+(\tilde{W})) - 1$$

定義

$$(W, S) : (Y, K) \rightarrow (Y', K')$$

が *negative definite pair*

$\stackrel{\text{def}}{\Leftrightarrow} (W, S)$ が (Y, K) から (Y', K') の間のコボルディズム
かつ、以下を満たす。

$$\begin{cases} H_1(W, \mathbb{Z}) = 0, b^+(W) = 0 \\ [S] : \text{divisible by } 4 \\ b^+(\widetilde{W}) = 0 \end{cases}$$

上の等式より、 (W, S) が *negative definite pair* なら

$$\text{ind}(\mathcal{D}_A) = 8\kappa(A_L) - 1$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$$b^+(\widetilde{W}) = 0 \Leftrightarrow$$

$$\sigma(K') = \sigma(K) + \frac{1}{2}S \cdot S + \chi(S)$$

$A_L = A_0$: flat & reducible のとき、 $ind(\mathcal{D}_D) = -1$
(regular, 1-dimensional stab.)

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

例

$([0, 1] \times Y, [0, 1] \times K)$ は *negative definite pair*
 $(W, S) : (Y, K) \rightarrow (Y', K')$ がホモロジー *concordance* は
negative definite pair

ASD 方程式の perturb を十分小さくとして、 $M(W, S, \theta, \theta')_0$
は、unique な regular reducible を含む。
(vanishing κ and ν)

臨界点の数え上げること

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

定理 (Herald)

Y : ホモロジー球面

$K \subset Y$ 結び目

π : *small perturbation*

$\mathfrak{C}_\pi$ を *non-degenerate* とする。そのとき、

$$\sum_{\alpha \in \mathfrak{C}_\pi} (-1)^{gr(\alpha)} = 4\lambda(Y) + \frac{1}{2}\sigma(K)$$

§3 結び目のインスタントフレアホモロジー

Daemi-
Scaduto's
papers

Y : ホモロジー球面、 $K \subset Y$ 結び目

$$\mathfrak{C}_\pi = \{\theta\} \cup \mathfrak{C}_\pi^{irr}$$

(non-degenerate, finite かつ $\alpha_1, \alpha_2 \in \mathfrak{C}_\pi$ に対して $M(\alpha_1, \alpha_2)$ は regular。)

$$C(Y, K) = \bigoplus_{\alpha \in \mathfrak{C}_\pi^{irr}} \mathbb{Z} \cdot \alpha$$

定義

$$d(\alpha_1) = \sum_{\alpha_2 \in \mathfrak{C}_\pi^{irr}, gr(\alpha_1, \alpha_2)=1} \# \check{M}(\alpha_1, \alpha_2)_0 \alpha_2$$

向きを込めて

$$C(Y, K) = \bigoplus_{\alpha \in \mathfrak{C}_\pi^{irr}} \mathbb{Z} \cdot \Lambda(\alpha)$$

とする必要があるが、ここではしない。

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィル
トレーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$d^2 = 0 \rightsquigarrow C(Y, K)$ が複体。

通常の花アホモロジーの議論

$\check{M}_Z(\alpha_1, \alpha_2)_1$ が $\check{M}^+(\alpha_1, \beta)_0 \times \check{M}^+(\beta, \alpha_2)$

に一致するなど。

既約インスタントンホモロジー

$$I_*(Y, K) = H_*(C(Y, K), d)$$

$\mathbb{Z}/4$ -graded homology

$c.f. : I(Y) : \mathbb{Z}/8$ -graded homology

定理

$(W, S) : (Y, K) \rightarrow (Y', K')$ に対して、

$$\lambda(\alpha) = \sum_{\substack{\alpha' \in \mathfrak{c}_{\pi'}^{irr} \\ gr(W, S, \alpha, \alpha') = 0}} \#M(W, S, \alpha, \alpha')_0 \alpha'$$

とすると、*chain map*

$$\lambda_{(W, S)} : C(Y, K) \rightarrow C(Y', K')$$

が得られる。

$$d' \circ \lambda - \lambda \circ d = 0$$

$M^+(W, S, \alpha, \alpha')_1$ の boundary point は broken trajectory.

$$\coprod_{\beta' \in \mathfrak{C}^{irr}(Y', K')} M(W, S, \alpha, \beta')_0 \times \check{M}(\beta', \alpha')_0$$

$$\cup \coprod_{\beta \in \mathfrak{C}^{irr}(Y, K)} \check{M}(\alpha, \beta)_0 \times M(W, S, \beta, \alpha')_0$$

$$(W, S) = (W_2 \circ W_1, S_2 \circ S_1)$$

$$\lambda_{(W_2, S_2)} \circ \lambda_{(W_1, S_1)} - \lambda_{(W, S)} = d \circ \phi - \phi \circ d$$

(due to Donaldson の教科書)

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所系係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$I(Y, K)$: 計量、摂動によらない。
negative definite pair

$$(W, S) : (Y, K) \rightarrow (Y', K')$$

$$\lambda = \lambda_{(W, S)} : C(Y, K) \rightarrow C(Y', K')$$

Herald の臨界点の数え上げからオイラー数の公式が導かれる。

定理

$$\chi(I_*(Y, K)) = 4\lambda(Y) + \frac{1}{2}\sigma(K)$$

$C = C(Y, K)$ 、 θ : 自明接続

定義

$\delta_1 : C_1 \rightarrow \mathbb{Z}$ を

$$\delta_1(\alpha) = \#\check{M}(\alpha, \theta)_0$$

$\delta_2 : \mathbb{Z} \rightarrow C_{-2}$

$$\delta_2(1) = \sum_{\alpha \in \mathfrak{C}, \text{gr}(\alpha)=2} \#\check{M}(\theta, \alpha)_0$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$$\delta_1 \circ d = d \circ \delta_2 = 0$$

$$\Delta_1 = \Delta_{1,(W,S)} : C(Y, K) \rightarrow \mathbb{Z}$$

$$\Delta_1(\alpha) = \#M(W, S, \alpha, \theta')_0$$

$$\Delta_{2,(W,S)} : \mathbb{Z} \rightarrow C(Y, K)$$

$$\Delta_2(1) = \sum_{\alpha' \in \mathfrak{C}_{\pi}^{irr}, gr(W, S, \theta, \alpha')=0} \#M(W, S, \theta, \alpha')_0$$

命題

$(W, S) : (Y, K) \rightarrow (Y', K') : \text{negative definite pair}$

$$1 \quad \Delta_1 \circ d + \delta_1 - \delta'_1 \circ \lambda = 0$$

$$2 \quad d' \circ \Delta_2 - \delta'_2 + \lambda \circ \delta_2 = 0$$

Proof.

(1) $M(W, S, \alpha, \theta')_1$ の end をカウントをする。

$$\check{M}(\alpha, \beta)_0 \times M(W, S, \beta, \theta')_0, \quad M(W, S, \alpha, \beta')_0 \times \check{M}(\beta', \alpha')_0$$

$\check{M}(\alpha, \theta)_0 : (W, S)$ が negative definite pair において reducible connection は唯一であった

(2) 同様



§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所系係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

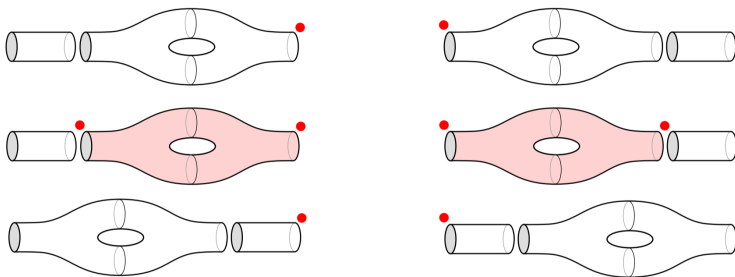


Figure 1: The relations (i) (left) and (ii) (right) of Proposition 3.10 .

ホロノミー作用素と ν -map

γ が閉曲線の場合

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$(W, S) : (Y, K) \rightarrow (Y', K')$ が negative definite pair
 α, α' を既約な臨界点とする。

$\gamma \subset S$ を閉曲線とする

γ に沿った holonomy を与える写像をつくる

$\nu_S : S$ の法束からなる S^1 -束

γ 上の S^1 束の自明化を固定

$[A] \in \mathcal{B}(W, S, \alpha, \alpha')$

$A^{ad} : \text{adjoint connection}$

$A_\epsilon^{ad} : \epsilon$ -近傍の境界は ν_S と同型

$\pi^* A^{ad} : \nu_S$ 上の S^1 -接続。

$A_\epsilon^{ad} \rightarrow A_0^{ad} : \epsilon \rightarrow 0$ の極限

$A_0^{ad} : \nu_S$ 上の S^1 接続。 $\tilde{\gamma} : \gamma$ の ν_S への a lift をとる

$\tilde{\gamma}$ に沿った A_0^{ad} の holonomy として

$$h_{\alpha\alpha'}^{\gamma} : \mathcal{B}(W, S, \alpha, \alpha') \rightarrow S^1$$

が定義できる。(gauge 変換によらない。)

base point, orientation of γ , lift $\tilde{\gamma}$, ν_S の fiber の orientation, などによらない。

γ の lift の変更は、 $h_{\alpha\alpha'}^{\gamma}$ に ± 1 の作用が働く...
次の写像を定義する。

$$\mu : C(Y, K) \rightarrow C(Y', K')$$

μ を

$$\mu(\alpha) = \sum_{\alpha' \in \mathfrak{C}_{\pi}^{irr}, gr(W, S, \alpha, \alpha')=1} \deg(h_{\alpha\alpha'}^{\gamma}|_{M(W, S, \alpha, \alpha')_1}) \alpha'$$

と定義する。

$h \in S^1$: generic

$(h_{\alpha\alpha'}^\gamma)^{-1}(h) \cap M(W, S, \alpha, \alpha')_1$ は $M^+(W, S, \beta_1, \beta_2)_1$ の内部に support している。

$\deg(h_{\alpha\alpha'}^\gamma|_{M(W, S, \alpha, \alpha')_1})$

は、その逆像の符号付きカウント

μ はチェーン写像

$$d' \circ \mu - \mu \circ d = 0$$

が成り立つ。

$$\check{M}^+(\alpha, \beta)_0 \times M^+(W, S, \beta, \alpha')_1$$

$$M^+(W, S, \alpha, \beta')_1 \times \check{M}^+(\beta', \alpha')_{i-1}$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

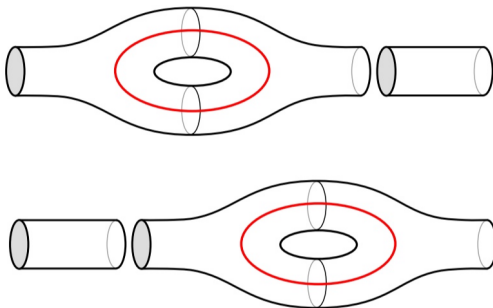


Figure 2: On the left is depicted relation (3.14);

ホロノミー作用素と ν -map

シリンダーの場合の ν -写像

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$(W, S) = \mathbb{R} \times (Y, K)$ のとき

$y \in K$: 起点。

$\alpha_j \in \mathfrak{G}_\pi^{irr}$ と $[A] \in \mathcal{B}(Y, K, \alpha_1, \alpha_2)$ に対して、 $\mathbb{R} \times \{y\} \subset S$ に沿った A^{ad} のホロノミーを $h_{\alpha_1\alpha_2}([A])$ と定義する。

$$h_{\alpha_1\alpha_2} : \mathcal{B}(Y, K, \alpha_1, \alpha_2) \rightarrow S^1$$

ASD 方程式の解に制限する

$$H_{\alpha_1\alpha_2} : \check{M}(\alpha_1, \alpha_2)_d \rightarrow S^1$$

$\check{M}^+(\alpha, \beta)$ unparametrized broken trajectory に拡張したい。

$\check{M}^+(\alpha, \beta)$ unparametrized broken trajectory に拡張する

(H1) $H_{\alpha_1\alpha_2} = 1$ if $\dim \check{H}(\alpha_1, \alpha_2) = 0$.

(H2) codimension 1 の顔 $\check{M}(\alpha_1, \beta)_{i-1} \times \check{M}^+(\beta, \alpha_2)_{d-i}$
上で、 $H_{\alpha_1\alpha_2} = H_{\alpha_1\beta} \circ H_{\beta\alpha_2}$

(H3) $gr(\alpha_1) = 1$ かつ $gr(\alpha_2) = 2$ のとき、(微妙に調整
する)

定義

$$v: C_* \rightarrow C_{*-2}$$

$$v(\alpha_1) = \sum_{\alpha_2 \in \mathfrak{C}_{\pi}^{irr}, gr(\alpha_1, \alpha_2)=2} deg(H_{\alpha_1\alpha_2}|_{\check{M}(\alpha_1\alpha_2)_1})\alpha_2$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

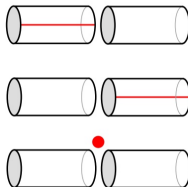
§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例



on the right, the relation of Proposition 3.16.

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

命題

$$d \circ v - v \circ d - \delta_2 \circ \delta_1 = 0$$

Proof.

$$M := \{[A] \in \check{M}(\alpha_1, \alpha_2)_2 \mid H_{\alpha_1 \alpha_2}([A]) = h\}$$

の end の boundary をカウントすることで得られる。



ホロノミー作用素と v -map

γ がコボルディズムな道の場合

Daemi-
Scaduto's
papers

(W, S) : negative definite pair

$\gamma \subset S$: proper な interval

$\partial\gamma = \{p, p'\} : p \in K \subset Y, p' \in K' \subset Y'$

ホロノミーを以前と同じようにとる。

$$h_{\alpha\alpha'}^{\gamma} : \mathcal{B}(W, S, \alpha, \alpha') \rightarrow S^1$$

シリンダーの拡張として以下も得る。

$$\mu(\alpha) = \sum_{\alpha' \in \mathcal{C}, \text{gr}(W, S, \alpha, \alpha')=1} \deg(H_{\alpha\alpha'}^{\gamma}|_{M(W, S, \alpha, \alpha')}) \cdot \alpha'$$

命題

$$d' \circ \mu + \mu \circ d + \Delta_2 \circ \delta_1 - \delta'_2 - \delta'_2 \circ \Delta_1 - v' \circ \lambda + \lambda \circ v = 0$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

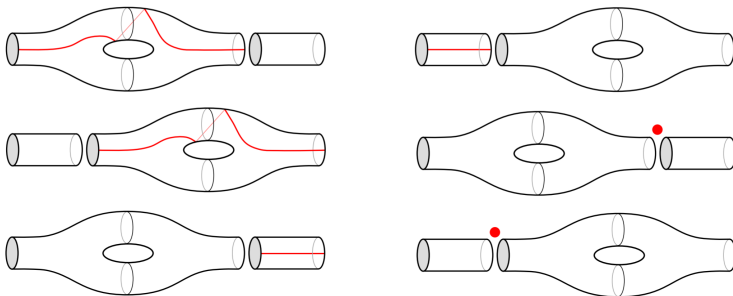


Figure 3: The relation of Proposition 3.19.

Framed instanton Floer homology

Daemi-
Scaduto's
papers

定義 ($\mathcal{S}$ -複体)

$(\tilde{C}_*, \tilde{d})$ が $\mathcal{S}$ 複体 $\stackrel{\text{def}}{\Leftrightarrow} (C, d)$ 鎖複体が存在して
次数写像

$$\blacksquare v : C_* \rightarrow C_{*-2}$$

$$\blacksquare \delta_1 : C_1 \rightarrow \mathbb{Z}$$

$$\blacksquare \delta_2 : \mathbb{Z} \rightarrow C_{-2}$$

$$\tilde{C} = C_* \oplus C_{*-1} \oplus \mathbb{Z}_{(0)}$$

$$\tilde{d} = \begin{bmatrix} d & 0 & 0 \\ v & -d & \delta_2 \\ \delta_1 & 0 & 0 \end{bmatrix}$$

$(\tilde{C}, \tilde{d})$ が鎖複体

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所系係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所系係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$\tilde{d}^2 = 0$ を書き下すと

$$\begin{cases} d^2 = \delta_1 \circ d = d \circ \delta_2 = 0 \\ d \circ v - v \circ d - \delta_2 \circ \delta_1 = 0 \end{cases}$$

$$\tilde{C}_* = C_* \oplus C_{*-1} \oplus \mathbb{Z}, \quad \tilde{C}'_* = C'_* \oplus C'_{*-1} \oplus \mathbb{Z}$$

定義 ($\mathcal{S}$ -複体の morphism)

$$\tilde{\lambda} : (\tilde{C}_*, \tilde{d}) \rightarrow (\tilde{C}'_*, \tilde{d}')$$

が *morphism* であるとは *degree zero chain map* が次を満たすこと。

$$\tilde{\lambda} = \begin{bmatrix} \lambda & 0 & 0 \\ \mu & \lambda & \Delta_2 \\ \Delta_1 & 0 & 1 \end{bmatrix}$$

$$\begin{cases} \lambda \circ d - d' \circ \lambda = 0 \\ \Delta_1 \circ d + \delta_1 - \delta'_1 \circ \lambda = 0 \\ d' \circ \Delta_2 - \delta'_2 + \lambda \circ \delta_2 = 0 \\ \mu \circ d + \lambda \circ v + \Delta_2 \circ \delta_1 - v' \circ \lambda + d' \circ \mu - \delta'_2 \circ \Delta_1 = 0 \end{cases}$$

定義 (S -鎖ホモトピー)

$$\tilde{C}_* = C_* \oplus C_{*-1} \oplus \mathbb{Z}$$

$$\tilde{C}'_* = C'_* \oplus C'_{*-1} \oplus \mathbb{Z}$$

S -複体

$(\tilde{C}_*, \tilde{d}) \rightarrow (\tilde{C}'_*, \tilde{d}')$ が S -チェインホモトピーである

$\Leftrightarrow$ チェインホモトピーであって

$$\begin{bmatrix} K & 0 & 0 \\ L & -K & M_2 \\ M_1 & 0 & 0 \end{bmatrix}$$

と書かれる。

2つの S -複体がチェインホモトピー同値であるとは、

$morphism f : \tilde{C}_* \rightarrow \tilde{C}'_*, g : \tilde{C}'_* \rightarrow \tilde{C}_*$ が存在して、

$f \circ g$ と $g \circ f$ は Id に S -チェインホモトピー同値。

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

(Y, K) の場合に考える。 $C(Y, K) = (C_*(Y, K), d)$ とする。

$p \in K : v$ の定義のための起点。

次を framed instanton homology という。

$$\tilde{C}(Y, K) = C_*(Y, K) \oplus C_{*-1}(Y, K) \oplus \mathbb{Z}$$

$$\tilde{I}_*(Y, K) = H_*(\tilde{C}(Y, K), \tilde{d}) \quad \mathbb{Z}/4\text{-grading}$$

§4 特異インスタントン同変不変量

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異イン
スタントン同
変不変量

§5 同変不変量

§7 局所系係
数・フィル
トレーション

§8 KM のホ
モロジーと
の関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

定義 (S 複体の言い換え)

$\tilde{C}_*$ が S 複体であるとは、次数付き有限生成自由アーベル群 $\tilde{C}_*$ が $\tilde{d} : \tilde{C}_* \rightarrow \tilde{C}_{*-1}$ と $\chi : \tilde{C}_* \rightarrow \tilde{C}_{*+1}$ をもち次を満たす。

- $\tilde{d}^2 = \chi^2 = 0, \chi \circ \tilde{d} + \tilde{d} \circ \chi = 0$
- $\exists \mathbb{Z} \subset \tilde{C}_0$ s.t. $\ker(\chi) = \text{im}(\chi) \oplus \mathbb{Z}$

$C_* := \text{Im}(\chi)$ とし、 $d = -\tilde{d}|_{C_*}$ とすることで、複体 (C_*, d) が復活する。

$(\tilde{C}, \tilde{d}), (\tilde{C}', \tilde{d}')$ を S -複体とする。

$\tilde{\lambda} : \tilde{C}_* \rightarrow \tilde{C}'_*$ が degree zero かつ、

$$\tilde{\lambda} \circ \tilde{d} = \tilde{d}' \circ \tilde{\lambda}$$

$$\tilde{\lambda} \circ \chi = \chi' \circ \tilde{\lambda}$$

$$\tilde{\lambda} = \begin{bmatrix} \lambda & 0 & 0 \\ \mu & \lambda & \Delta_2 \\ \Delta_1 & 0 & c \end{bmatrix}$$

としてこれらの複体の間の射が定義できる。(morphism なら $c = 1$ にする必要あり)

Remark

$\mathcal{S}$ -複体ので出どころ

S^1 が e_0 以外に自由に単体的に作用する CW-複体 $(\tilde{C}, \tilde{d})$ をその chain 複体とすると、

$$\tilde{C}_* = C_* \oplus C_{*-1} \oplus \mathbb{Z}$$

のような分解をもつ。

同変ホモロジー

Daemi-
Scaduto's
papers

$$(\tilde{C}_*, \tilde{d}, \chi)$$

定義 ($\mathcal{S}$ 複体に同伴する同変ホモロジー)

$$\hat{C}_* = \mathbb{Z}[x] \otimes \tilde{C}_*$$

$$\hat{d}(x^i \zeta) = -x^i \tilde{d}\zeta + x^{i+1} \cdot \chi(\zeta)$$

$$\check{C}_* := (\mathbb{Z}[[x^{-1}, x]] / \mathbb{Z}[x]) \otimes \tilde{C}_*$$

$$\check{d}(x^i \cdot \zeta) = x^i \cdot \tilde{d}\zeta - x^{i+1} \cdot \chi(\zeta)$$

$j: \check{C}_* \rightarrow \hat{C}_{*-1}$ を次のように定義

$$j(x^k \xi) = \begin{cases} -\chi(\xi) & k = -1 \\ 0 & k < -1 \end{cases}$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

定義

$$\overline{C}_* = \tilde{C}_* \otimes \mathbb{Z}[[x^{-1}, x]]$$

$$\overline{d}(x^i \cdot \zeta) = -x^i \cdot \tilde{d}\zeta + x^{i+1} \cdot \chi(\zeta)$$

x の次数は -2

$\zeta \in C_i$ のとき、 $\deg(x^j \cdot \zeta) = -2j + i$

よって、 $\hat{d}, \tilde{d}, \overline{d}$ は微分写像となり、これらは複体。

V_m : $\mathbb{Z}$ -graded ベクトル空間

$\epsilon : V_* \rightarrow V_*$ が斉次元 a に対して $\epsilon(a) = (-1)^m a$ となる写像を
次数写像という。ここで m は a の次数

次のような chain map triangle は exact triangle を誘導する。
((1) を large equivariant triangle という。

$$\begin{array}{ccccc}
 \check{C}_* & \xrightarrow{j} & \widehat{C}_* & \rightsquigarrow & \check{I}_* & \xrightarrow{j_*} & \widehat{I}_* \\
 & \nwarrow p & \searrow i & & \nwarrow p_* & \searrow i_* & \\
 & & \overline{C}_* & & & \overline{I}_* &
 \end{array} \quad (1)$$

$$\begin{array}{ccccc}
 \widetilde{C}_* & \xrightarrow{z} & \widehat{C}_* & \rightsquigarrow & \widetilde{I}_* & \xrightarrow{z_*} & \widehat{I}_* \\
 & \nwarrow p & \searrow x & & \nwarrow p_* & \searrow x_* & \\
 & & \widehat{C}_* & & & \widehat{I}_* &
 \end{array}$$

i, p は grading を保つ。

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィル
トレーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所系係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$$\deg(x) = -2$$

$\det(y) = 0$: constant term への projection と sign map の合成。

$$\deg(z) = 1 : z = \chi$$

$$\tilde{\lambda} : \tilde{C}_* \rightarrow \tilde{C}'_*$$

が射であれば、同変版への射も自然に誘導する。

合成の射があれば、同変版へも合成も自然に誘導する。

小同変複体

Daemi-
Scaduto's
papers

$(\tilde{C}_*, \tilde{d}, \tilde{\chi}) : \mathcal{S}\text{-複体 } (\mathbb{Z}[x] \text{ 加群})$
 $(\hat{\mathcal{C}}_*, \hat{d})$ $(\check{\mathcal{C}}_*, \check{d})$ を定義する。

定義

$$\hat{\mathcal{C}}_* = C_{*-1} \oplus \mathbb{Z}[x],$$

$$\hat{d} \left(\alpha, \sum_{i=0}^N a_i x^i \right) = \left(d\alpha - \sum_{i=0}^N v^i \delta_2(a_i), 0 \right)$$

$$\check{\mathcal{C}}_* = C_* \oplus (\mathbb{Z}[[x^{-1}, x]]/\mathbb{Z}[x])$$

$$\check{d} \left(\alpha, \sum_{i=-\infty}^{-1} a_i x^i \right) = \left(d\alpha, \sum_{i=-\infty}^{-1} \delta_1 v^{-i-1}(\alpha) x^i \right)$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$\mathbb{Z}[x]$ -module 構造は以下

$$x \cdot (\alpha, \sum_{i=0}^N a_i x^i) = (v\alpha, \delta_1(\alpha) + \sum_{i=0}^N a_i x^{i+1})$$

$$x \cdot (\alpha, \sum_{i=-\infty}^{-1} a_i x^i) = (v\alpha + \delta_2(a_{-1}), \delta_1(\alpha) + \sum_{i=-\infty}^{-2} a_i x^{i+1})$$

定義

$$\overline{\mathfrak{C}}_* = \mathbb{Z}[[x^{-1}, x], \bar{d} = 0$$

$$\cdots \xrightarrow{p} \check{\mathfrak{C}}_* \xrightarrow{i} \hat{\mathfrak{C}}_* \xrightarrow{j} \overline{\mathfrak{C}}_* \xrightarrow{p} \check{\mathfrak{C}}_* \xrightarrow{i} \hat{\mathfrak{C}}_* \xrightarrow{j} \overline{\mathfrak{C}}_* \xrightarrow{p}$$

を次の chain map として定義する。

$$i\left(\alpha, \sum_{i=0}^N a_i x^i\right) = \sum_{i=-\infty}^{-1} \delta_1 v^{-i-1}(\alpha) x^i + \sum_{i=0}^N a_i x^i$$

$$j\left(\alpha, \sum_{i=-\infty}^{-1} a_i x^i\right) = (\alpha, 0)$$

$$p\left(\sum_{i=-\infty}^N a_i x^i\right) = \left(\sum_{i=0}^N v^i \delta_2(a_i), \sum_{i=-\infty}^{-1} a_i x^i\right)$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所系係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

次の exact triangle を誘導する。

$$\begin{array}{ccc}
 H(\check{\mathfrak{c}}_*, \check{d}) & \xrightarrow{j_*} & H(\hat{\mathfrak{c}}_*, \hat{d}) \\
 & \nwarrow p_* \quad \nearrow i_* & \\
 & \overline{\mathfrak{c}}_* &
 \end{array}$$

$\hat{\Phi} : \hat{C}_* \rightarrow \hat{\mathcal{C}}_*, \check{\Phi} : \check{C}_* \rightarrow \check{\mathcal{C}}_*, \overline{\Phi} : \overline{C}_* \rightarrow \overline{\mathcal{C}}_*$ を

$$\hat{\Phi}\left(\sum_{i=0}^N \alpha_i x^i, \sum_{i=0}^N \beta_i x^i, \sum_{i=0}^N a_i x_i\right)$$

$$:= \left(\sum_{i=0}^N v^i(\beta_i), \sum_{i=0}^N a_i x_i + \sum_{i=1}^N \sum_{j=0}^{i-1} \delta_1 v^j(\beta_i) x^{i-j-1}\right)$$

$$\check{\Phi}\left(\sum_{i=-\infty}^{-1} \alpha_i x^i, \sum_{i=-\infty}^{-1} \beta_i x^i, \sum_{i=-\infty}^{-1} a_i x_i\right)$$

$$:= \left(\alpha_{-1}, \sum_{i=-\infty}^{-1} a_i x^i, \sum_{i=-\infty}^{-1} \sum_{j=0}^{\infty} \delta_1 v^j(\beta_i) x^{i-j-1}\right)$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$$\overline{\Phi}\left(\sum_{i=-\infty}^N \alpha_i x^i, \sum_{i=-\infty}^N \beta_i x^i, \sum_{i=-\infty}^N a_i x^i\right)$$

$$:= \sum_{i=-\infty}^N a_i x^i + \sum_{i=-\infty}^N \sum_{j=0}^{\infty} \delta_1 v^j(\beta_i) x^{i-j-1}$$

$$\hat{\Psi} : \hat{\mathcal{C}}_* \rightarrow \hat{C}_*, \check{\Psi} : \check{\mathcal{C}}_* \rightarrow \check{C}_*, \overline{\Psi} : \overline{\mathcal{C}}_* \rightarrow \overline{C}_* \text{ を}$$

$$\hat{\Psi}(\alpha, \sum_{i=0}^N a_i x^i) := \left(\sum_{i=1}^N \sum_{j=0}^{i-1} v^j \delta_2(a_i) x^{i-j-1}, \alpha, \sum_{i=0}^N a_i x^i \right)$$

$$\check{\Psi}(\alpha, \sum_{i=-\infty}^{-1} a_i x^i)$$

$$:= \left(\sum_{i=-\infty}^{-1} v^{-i-1}(\alpha) x^i + \sum_{i=-\infty}^{-1} \sum_{j=0}^{\infty} v^j \delta_2(a_i) x^{i-j-1}, 0, \sum_{i=-\infty}^{-1} a_i x^i \right)$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$$\bar{\Psi}\left(\sum_{i=-\infty}^N a_i x^i\right) := \left(\sum_{i=-\infty}^N \sum_{j=0}^{\infty} v^j \delta_2(a_i) x^{i-j-1}, 0, \sum_{i=-\infty}^N a_i x^i\right)$$

このとき、

$$\hat{\phi} \circ \hat{\psi} = id, \check{\phi} \circ \check{\psi} = Id, \bar{\phi} \circ \bar{\psi} = Id$$

また、

$$\hat{\phi} \circ x = x \circ \hat{\phi}, \check{\psi} \circ x = x \circ \check{\psi}, \bar{\phi} \circ x = x \circ \bar{\phi}, \bar{\psi} \circ x = x \circ \bar{\psi}$$

$$\hat{\phi} \circ j = j \circ \check{\phi}, \hat{\psi} \circ j = j \circ \check{\psi}, \bar{\phi} \circ i = i \circ \hat{\phi}, \check{\psi} \circ p = p \circ \bar{\psi}$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$$x \circ \hat{\Psi} - \hat{\Psi} \circ x = \hat{d}\hat{K}_x + \hat{K}_x\hat{d}, \quad x \circ \check{\Phi} - \check{\Phi} \circ x = \check{d}\check{K}_x + \check{K}_x\check{d}$$

$$\bar{\Psi} \circ i - i \circ \hat{\Psi} = \tilde{d}K_i + K_i\hat{d}, \quad \check{\Phi} \circ p - p \circ \bar{\Phi} = \check{d}K_p - K_p \circ \bar{d}$$

$$\hat{\Phi} \circ \hat{\Psi} - id = \hat{d}\hat{K} + \hat{K}\hat{d}$$

$$\check{\Phi} \circ \check{\Psi} - id = \check{d}\check{K} + \check{K}\hat{d}$$

$$\bar{\Phi} \circ \bar{\Phi} - id = \bar{d}\bar{K} + \bar{K}\bar{d}$$

となる。

$\tilde{\lambda} : \tilde{C}_* \rightarrow \tilde{C}'$ を S -複体の射とする。

このとき、

$$\hat{m}_{\tilde{\lambda}} : \hat{\Phi}' \circ \hat{\lambda} \circ \hat{\Psi}$$

$$\check{m}_{\tilde{\lambda}} : \check{\Phi}' \circ \check{\lambda} \circ \check{\Psi}$$

$$\bar{m}_{\tilde{\lambda}} : \bar{\Phi}' \circ \bar{\lambda} \circ \bar{\Psi}$$

と定義する。

とくに

$$\bar{m}_{\tilde{\lambda}} : \bar{C}_* \rightarrow \bar{C}'_* \text{ である。}$$

系

$H(\bar{C}_*, \bar{d})$ は、 $\mathbb{Z}[[x^{-1}, x]]$ と同型。

任意の S -複体の射 $\lambda : \tilde{C}_* \rightarrow \tilde{C}'_*$ に対して、 $\bar{m}_{\tilde{\lambda}} : \bar{C}_* \rightarrow \bar{C}'_*$ は同型を誘導する。

$H(\bar{C}_*, \bar{d}) \rightarrow H(\bar{C}'_*, \bar{d}')$ は、 $1 + \sum_{i=-\infty}^{-1} b_i x^i$ の掛け算
 $b_i \in \mathbb{Z}$

h -不変量

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$\mathfrak{I} \subset \mathbb{Z}[[x^{-1}, x]]$ を
 $i_* : H(\hat{\mathcal{C}}_*, \hat{d}) \rightarrow \mathbb{Z}[[x^{-1}, x]]$ の像
($p : \mathbb{Z}[[x^{-1}, x]] \rightarrow H(\check{\mathcal{C}}_*, \check{d})$ の kernel)
とする。

定義

$$h(\tilde{\mathcal{C}}) := - \inf_{Q(x) \in \mathfrak{I}} \{ \text{Deg}(Q(x)) \}$$

morphism : $\tilde{\mathcal{C}} \rightarrow \tilde{\mathcal{C}}'$

とすれば、 $\mathfrak{I} \rightarrow \mathfrak{I}'$ の写像は $1 + \sum_{i=-\infty}^{-1} b_i x^i$ の掛け算、

$$h(\tilde{\mathcal{C}}) \leq h(\tilde{\mathcal{C}}')$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

命題

$h(\tilde{C}) > 0$ であること

$\Leftrightarrow \exists \alpha \in C_*$ s.t. $d(\alpha) = 0, \delta_1(\alpha) \neq 0$.

$h(\tilde{C}) = k > 0$ であるなら

k は次の性質を満たす $\alpha \in C_*$ が存在する最大の整数

$$d\alpha = 0, \delta_1 v^{k-1}(\alpha) \neq 0, \delta_1 v^i(\alpha) = 0, \quad (i \leq k-2)$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

命題

$h(\tilde{C}) = k \leq 0$ なら、そのとき、 k は次の性質を満たす $\alpha_0, \dots, \alpha_{-k} \in \mathbb{Z}, \alpha \in C_*$ が存在するような最大の整数。

$$d\alpha = \sum_{i=0}^{-k} v^i \delta_2(a_i), \quad a_{-k} \neq 0$$

Local equivalence

Daemi-
Scaduto's
papers

S : Category

s, t : object with preoder (reflexive & transitive)

$$s \xrightarrow{\exists} t \Leftrightarrow s \leq t$$

$s \sim t \Leftrightarrow s \leq t \& t \leq s$ とすることで、同値関係 $S / \sim$ を定める。

Local equivalence

R : 環

$$\Theta_R^S = \{S\text{-複体}\} / \sim$$

ここで、

$$(\tilde{C}, \tilde{d}, \chi) \sim (\tilde{C}', \tilde{d}', \chi')$$

$$\Leftrightarrow \exists f : \tilde{C}_* \rightarrow \tilde{C}'_*, f' : \tilde{C}'_* \rightarrow \tilde{C}_* \text{ (morphism)}$$

として定義する。

Θ_R^S : 半順序アーベル群 (複体のテンソル積)

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$$\Theta_{R, \mathbb{Z}/2N}^S := \{\mathbb{Z}/2N\text{-graded } \mathcal{S}\text{-複体 over } R\} / \sim$$

とおく。

命題

R : 整域

$h : \Theta_R^S \rightarrow \mathbb{Z}$ は (半順序集合アーベル群の) 準同型

R が体なら同型

$$im(i_*) = \mathfrak{I} \subset \mathbb{Z}[[x^{-1}, x]]$$

定義

$$g(\tilde{C}) = \gcd\{m \mid m := Q(x) \in \mathfrak{I} \text{ の leading factor} \\ \text{with } \deg(Q(x)) = h(\tilde{C})\} \in \mathbb{Z}_{>0}$$

$$g : \Theta_{\mathbb{Z}}^S \rightarrow \mathbb{Z}_{>0}$$

$$\tilde{C} \leq \tilde{C}' : \mathcal{S}\text{-複体} \Rightarrow g(\tilde{C}') | g(\tilde{C})$$

$$g(\tilde{C} \otimes \tilde{C}') | g(\tilde{C})g(\tilde{C}')$$

$$R : \text{整域}$$

$$(\tilde{C}, \tilde{d}, \chi) : R \text{ 上の } \mathcal{S}\text{-複体}$$

$$\text{im}(\mathfrak{I}) = \mathfrak{I} \subset R[[x^{-1}, x]] : (R[x]\text{-module})$$

nested ideal sequence

Daemi-
Scaduto's
papers

$\tilde{C} : \mathcal{S}$ -複体

定義

$$J_i(\tilde{C}) = \{a_0 \in R \mid \exists a_0 x^{-i} + a_{-1} x^{-i-1} + \cdots \in \mathfrak{I}\}$$

と定義すると、イデアルの列

$$\cdots \subset J_{i+1} \subset J_i \subset J_{i-1} \subset \cdots \subset R$$

が得られる。このような列は *local equivalence class* の不変量

$$h(\tilde{C}) = \max\{i \mid J_i \neq 0\}$$

$$J_h \subset J_{h-1} \subset J_{h-2} \subset \cdots \subset R$$

$R = \mathbb{Z}$ のとき、

J_h は $\mathfrak{g}(\tilde{C})$ によって生成される主イデアルである。

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

§5 同変不変量

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

同変特異インスタントンホモロジー

- $\hat{I}_*(Y, K)$ I-from
- $\check{I}_*(Y, K)$ I-to
- $\bar{I}_*(Y, K)$ I-bar

$\mathbb{Z}[x]$ -加群

$$\bar{I}_*(Y, K) \cong \mathbb{Z}[[x^{-1}, x]]$$

exact triangle をもつ。

$\mathcal{H} : \mathbb{Z}HS^3$ の中の based knot を object とし、negative definite pair を morphism とするカテゴリー

$Mod_{\mathbb{Z}[x]}^{\mathbb{Z}/4} : \mathbb{Z}/4\text{-graded } \mathbb{Z}[x]\text{-加群の category への functor}$

$\check{I}_*, \hat{I}_*, \bar{I}_*$ は
functor

$$\check{I}_* : \mathcal{H} \rightarrow Mod_{\mathbb{Z}[x]}^{\mathbb{Z}/4}$$

$$\hat{I}_* : \mathcal{H} \rightarrow Mod_{\mathbb{Z}[x]}^{\mathbb{Z}/4}$$

$$\bar{I}_* : \mathcal{H} \rightarrow Mod_{\mathbb{Z}[x]}^{\mathbb{Z}/4}$$

を与えている。

$$\Theta_{\mathbb{Z}}^{3,1} := \{(Y, K)\} / \sim$$

$$(Y, K) \sim (Y', K') \Leftrightarrow \exists \text{ neg. def. pair with}$$

$$(Y, K) \rightarrow (Y', K'), (Y', K') \rightarrow (Y, K)$$

$\Theta_{\mathbb{Z}[x]}^{3,1}$ は半順序関係をもつアーベル群。

定理

R : 可換環

ファンクター $(Y, K) \rightarrow (\tilde{C}_*(Y, K, R), \tilde{d}, \chi)$ は順序を保つ準同型 $\Xi : \Theta_{\mathbb{Z}}^{3,1} \rightarrow \Theta_{R, \mathbb{Z}/4}^S$ を与える。

定義

フロイショフ不変量 $h_{\mathbb{Z}}(Y, K)$ は、

$$h : \Theta_{\mathbb{Z}}^{3,1} \xrightarrow{\Xi} \Theta_{\mathbb{Z}, \mathbb{Z}/4}^S \xrightarrow{h} \mathbb{Z}$$

として与えられる。

自然な順序を保つ準同型

$$\mathcal{C}_{\mathbb{Z}} \rightarrow \Theta_{\mathbb{Z}}^{3,1}$$

定理

R : 整域
に対して、順序を保つ群準同型

$$h_R : \mathcal{C}_{\mathbb{Z}} \rightarrow \mathbb{Z}$$

が誘導される。

つまり $(W, S) : (Y, K) \rightarrow (Y', K')$ が *neg. def pair* とすると、
 $h_R(Y, K) \leq h_R(Y', K')$ を満たす。

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

§7 局所係数・フィルトレーション

Daemi-
Scaduto's
papers

$$\mathcal{R} = \mathbb{Z}[U^{\pm 1}, T^{\pm 1}]$$

上の局所系を考える。

$[B] \in \mathcal{B}(Y, K)$ に対して、 $\mathbb{R}$ -加群

$$\Delta_{[B]} = \mathbb{Z}[U^{\pm 1}, T^{\pm 1}] U^{-CS(B)} T^{hol_K(B)}$$

を割り当てる。

$\gamma : [-1, 1] \rightarrow \mathcal{B}(Y, K)$ を α_1 から α_2 への道。

$A : \mathbb{R} \times Y$ 上の接続で、 γ を表す。

$t < -1$ のとき、 α_1 であり、 $t > 1$ のとき α_2 となる。

$$\Delta_\gamma : \Delta_{\alpha_1} \rightarrow \Delta_{\alpha_2}$$

を $f \mapsto f \times U^{2\kappa(A)} T^{\nu(A)}$ とする。

$U^{\pm 1}$: grading が ± 4 だけずれる。

$T^{\pm 1}$: grading はズレない。

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィル
トレーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$$\{\text{Monomials of } \Delta_\alpha\} \xleftrightarrow{1:1} \{\text{homotopy classes of } \alpha \rightsquigarrow \theta\}$$

$$C_*(Y, K, \Delta) = \bigoplus_{\alpha \in \mathfrak{C}_\pi^{\text{irr}}} \Delta_\alpha$$

$$d(\alpha_1) = \sum_{\alpha_2 \in \mathfrak{C}_\pi^{\text{irr}}, [A] \in \check{M}(\alpha_1, \alpha_2)_0} \Delta(A) \cdot \alpha_2$$

ここで $\Delta(A) = \Delta_\gamma : \gamma$ は A によって誘導される $\mathcal{B}(Y, K)$ の道。

negative definite pair に対して、

$$(W, S) : (Y, K) \rightarrow (Y', K')$$

の場合、

$$\lambda_{(W, S, \Delta)}(\alpha) = \sum_{\alpha' \in \mathfrak{C}_\pi^{\text{irr}}, [A] \in M(W, S, \alpha, \alpha')_0} \Delta(A) \alpha'$$

と定義する。

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$\mathcal{S} : \mathbb{Z}$ -graded $\mathcal{R}$ -代数

次の局所系係数のホモロジーが定義できる。

$$(\tilde{C}(Y, K, \Delta_{\mathcal{S}}), \tilde{d}), \quad \Delta_{\mathcal{S}} = \Delta \otimes_{\mathcal{R}} \mathcal{S}$$

として局所系ホモロジーができる。

例

$\mathcal{S} = \mathbb{Z}[T^{\pm 1}]$ のとき、 $(U = 1$ としたもの) $(\tilde{C}(Y, K, \Delta_{\mathcal{S}}), \tilde{d})$ が KM の局所系係数の S -複体。

同様に、

$$\hat{I}(Y, K, \Delta_{\mathcal{S}}), \check{I}(Y, K, \Delta_{\mathcal{S}}), \bar{I}(Y, K, \Delta_{\mathcal{S}})$$

が $\mathbb{Z}$ -graded な $\mathcal{S}[x]$ -加群として定義できる。

$\mathcal{R}$ -代数 $\mathcal{S}$ に対して同様にフロイショフ不変量

$$h_{\mathcal{S}}(Y, K) \in \mathbb{Z}$$

が定義される。
次のイデアル列

$$J_h^{\mathcal{S}}(Y, K) \subset J_{h-1}^{\mathcal{S}}(Y, K) \subset \cdots \mathcal{S}$$

が定義できる。

定義

$R[U^{\pm 1}]$ 上のレベル δ の I -graded S -複体 (with $\mathbb{Z} \times \mathbb{R}$ -bigraded as an R -module) $(\tilde{C}, \tilde{d}, \chi)$ に対して
次を満たすものをいう。

- 1 $U\tilde{C}_{i,j} \subset \tilde{C}_{i+4,j+1}$
- 2 $\tilde{d}\tilde{C}_{i,j} \subset \bigcup_{k < j+\delta} \tilde{C}_{i-1,k}$
- 3 $\chi\tilde{C}_{i,j} \subset \tilde{C}_{i+1,j}$

$\mathbb{Z}$ の方は $\tilde{gr}$ とし、 $\mathbb{R}$ の方は $\deg_I$ という。

$1 \in R[U^{\pm 1}] \subset \tilde{C}$ は $(0, 0) \in \mathbb{Z} \times \mathbb{R}$ である。

$\delta' > \delta$ に対して

$$\begin{aligned}\tilde{C} &= (\oplus_{k=1}^n R[U^{\pm 1}]\gamma_k) \oplus (\oplus_{k=1}^n R[U^{\pm 1}]\underline{\gamma_k}) \oplus R[U^{\pm 1}]\gamma_0 \\ &= C_* \oplus C_{*-1} \oplus R[U^{\pm 1}]\end{aligned}$$

$\mathcal{S}$ -複体分解 γ_k は (i_k, j_j) -grading とすると、 $\underline{\gamma_k}$ は $(i_k + 1, j_j)$ -grading を持つ。

$$\deg_I\left(\sum s_k \zeta_k\right) = \max\{\deg_I(\zeta_k) | s_k \neq 0\}$$

と定義する。

γ_k は既約な critical point から θ への道

γ_0 は θ の定値パス

定義

$\tilde{\lambda}: \tilde{C} \rightarrow \tilde{C}'$ がレベル $\delta > 0$ の I -graded S -複体の *morphism* は $R[U^{\pm 1}]$ -加群の準同型であり、 S -複体の *morphism* で

$$\tilde{\lambda} \tilde{C}_{i,j} \subset \cup_{k \leq j+\delta} \tilde{C}'_{i,k}$$

を満たす。

$\tilde{K}$ が *morphism* $\tilde{\lambda}$ と $\tilde{\lambda}'$ のレベル δ の S -チェインホモトピーであるとは、 $R[U^{\pm 1}]$ -加群の準同型であり、 $\tilde{\lambda}$ と $\tilde{\lambda}'$ の間の S -チェインホモトピーであり、

$$\tilde{K} \tilde{C}_{i,j} \subset \cup_{k \leq j+\delta} \tilde{C}'_{i+1,k}$$

enriched $\mathcal{S}$ -複体

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

定義

$\tilde{\mathcal{C}}$ が enriched $\mathcal{S}$ -複体であるとは次の $R[U^{\pm 1}]$ 上の I -graded $\mathcal{S}$ -複体の列 $\{(\tilde{C}^i, \tilde{d}^i, \chi^i)\}_{i \geq 1}$ とレベル $\delta_{i,j}$ の morphism $\phi_i^j : \tilde{C}^i \rightarrow \tilde{C}^j$ で次を満たすもの。

- 1 $\phi_i^i = id$, $\phi_k^j \circ \phi_i^k$ はレベル $\delta_{i,k,j}$ の $\mathcal{S}$ -チェインホモトピーを通して ϕ_i^j に $\mathcal{S}$ -複体のチェインホモトピー同値
- 2 $\forall \delta > 0$ に対して、ある $N > 0$ が存在して、 $i > N$ に対して、 $\delta_i \leq \delta$ かつ $i, j > N$ は $\delta_{i,j} \leq \delta$ が成り立つ。
また、 $\forall i, k, j > N$ に対して $\delta_{i,k,j} < \delta$ が成り立つ

(Y, K) : based knot に対して、CS-func の perturbation の列に associated された I -graded S -複体の列として

$$\tilde{\mathfrak{C}}(Y, K, \Delta) := \{(\tilde{C}_*^i(Y, K, \Delta), \tilde{d}^i, \chi^i)\}$$

と定義する。

ここで、 $(\tilde{C}_*^i(Y, K, \Delta), \tilde{d}^i, \chi^i)$ その perturbation によって決定されるレベル δ_i である。

$\tilde{\mathfrak{C}}(Y, K, \Delta)$ は $R[U^{\pm 1}]$ 上の enriched S -複体となる。
 $R = \mathbb{Z}[T^{\pm 1}]$ 。

$r = 1, 2$ に対して $\tilde{\mathfrak{C}}(r) = (\{(\tilde{C}_*^i(r), \tilde{d}^i(r), \chi^i(r))\}, \phi_i^j(r))$ を enriched S -複体とする。

定義

$\tilde{\mathfrak{C}}(1) \rightarrow \tilde{\mathfrak{C}}(2)$ が enriched 複体の morphism であるとは、レベル $\delta_{i,j}$ の I -graded S -複体の morphism

$$\tilde{\lambda}_i^j : \tilde{C}^i(1) \rightarrow C^j(2)$$

の集まりで次を満たすもの

- 1 $\tilde{\lambda}_k^j \circ \phi_i^k(1)$ と $\phi_j^k(2) \circ \tilde{\lambda}_i^k$ はレベル $\delta_{i,j}$ の S -チェインホモトピー同値を通して $\tilde{\lambda}_i^j$ と S -チェインホモトピー同値。
- 2 $\forall \delta > 0$ に対して、ある $N > 0$ が存在して、 $i, j > N$ は $\delta_{i,j} \leq \delta$ が成り立つ、または、 $\forall i, k, j > N$ に対して $\delta_{i,k,j} < \delta$ が成り立つ

コンコードانس不変量 $\Gamma_{(Y,K)}^R$

Daemi-
Scaduto's
papers

R : 整域かつ $\mathbb{Z}[T^{\pm 1}]$

$$\Gamma_{(Y,K)}^R : \Theta_{R[U^{\pm 1}]}^{\mathfrak{C}} \rightarrow \text{Map}(\mathbb{Z}, \overline{R}_{\geq 0})$$

を定義する。

Daemi の不変量 Γ の一般化

ただし、 $\overline{\mathbb{R}}_{\geq 0} = \mathbb{R}_{\geq 0} \cup \{\infty\}$

$\tilde{\mathfrak{C}}$: enriched $\mathcal{S}$ -complex defined

$$\{(\tilde{C}^j, \tilde{d}', \chi^j)\}$$

C^j : I -graded associated chain group と $R[U^{\pm 1}]$ -加群の準同型

$$d^j : C^j \rightarrow C^j, \quad v^j : C^j \rightarrow C^j$$

$$\delta_1^j : C^j \rightarrow R[U^{\pm 1}], \quad \delta_2^j : R[U^{\pm 1}] \rightarrow C^j$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$k \in \mathbb{Z}_{>0}$ にたいして、

$$\Gamma(\tilde{\mathcal{C}})(k) = \lim_{j \rightarrow \infty} \inf_{\alpha} (\deg_I(\alpha)) \in \overline{\mathbb{R}}_{>0}$$

と定義する。ここで、 $\inf$ は $\alpha \in C^j$ かつ $(2k-1, \deg_I(\alpha))$ の bigrading をもち、

$$d^j(\alpha) = 0, k-1 = \min\{i \in \mathbb{Z}_{\geq 0} \mid \delta_1^j(v^j)^i(\alpha) \neq 0\}$$

を満たす中でとる。

$k \in \mathbb{Z}_{\leq 0}$ にたいして、

$$\Gamma(\tilde{\mathcal{C}})(k) = \max(\lim_{j \rightarrow \infty} \inf_{\alpha} (\deg_I(\alpha)), 0) \in \overline{\mathbb{R}}_{>0}$$

と定義する。ここで、 $\alpha \in C^j$ かつ $(2k-1, \deg_I(\alpha))$ の bigrading をもち、 $\{\alpha_0, \alpha_1, \dots, \alpha_{-k}\} \subset R[U^{\pm 1}]$ が存在して

$$d^j(\alpha) = \sum_{i=0}^{-k} (v^j)^i \delta_2^j(a_i)$$

$\tilde{\mathcal{C}} \rightarrow \tilde{\mathcal{C}}' : \text{enriched } \mathcal{S}\text{-複体の morphism なら、}$

$$\Gamma(\tilde{\mathcal{C}})(k) \geq \Gamma(\tilde{\mathcal{C}}')(k)$$

が任意の $k \in \mathbb{Z}$ に対して成り立つ。

Γ は、enriched $\mathcal{S}$ -複体の local equivalence に関して不変である。

定義

$(Y, K) : \text{based knot } K \text{ in } Y$

$R : \mathbb{Z}[T^{\pm 1}]$ 上の代数 (整域)

$$\Gamma_{(Y, K)}^R = \Gamma \left(\tilde{\mathcal{C}}(Y, K, \Delta_{R[U^{\pm 1}]}) \right)$$

と定義する。

このとき、

$$\Gamma_{(Y, K)}^R : \Theta_{\mathbb{Z}}^{3,1} \xrightarrow{\Omega} \Theta_{R[U^{\pm 1}]}^{\mathcal{C}} \xrightarrow{\Gamma} \text{Map}_{\geq 0}(\mathbb{Z}, \overline{R}_{\geq 0})$$

が得られる。

定理

$(Y, K) : \text{based knot in } Y$

- 1 $\Gamma_{(Y,K)}^R$ は $\Theta_{\mathbb{Z}}^{3,1}$ の不変量
- 2 $\Gamma_{(Y,K)}^R$ は $\mathbb{Z} \rightarrow \overline{\mathbb{R}}_{\geq 0}$ 上の非増加関数。 $\forall i \in \mathbb{Z}_{>0}$ に対して *positive*
- 3 $(W, S) : (Y, K) \rightarrow (Y', K') \text{negative definite cobor} :$

$$\Gamma_{(Y',K')}^R(i) \leq \begin{cases} \Gamma_{(Y,K)}^R(i) - \eta(W, S) & i > 0 \\ \max(\Gamma_{(Y,K)}^R(i) - \eta(W, S), 0) & i \leq 0 \end{cases}$$

不変量 $\eta(W, S) \in \mathbb{R}_{\geq 0}$ は $\pi_1(W \setminus S)$ の *traceless* $SU(2)$ 表現で $(Y, K), (Y', K')$ の既約 $SU(2)$ 表現を拡張したものが存在しないなら $\eta(W, S) > 0$

定理のつづき

4 $\forall i \in \mathbb{Z}$ に対して、 $\Gamma_{(Y,K)}^R(i) < \infty \Leftrightarrow i \leq h_R(Y, K)$

5 $\forall i \in \mathbb{Z}$ に対して、 $\Gamma_{(Y,K)}^R(i) \notin \{0, \infty\}$ ならば、

$$\Gamma_{(Y,K)}^R(i) \equiv CS(\alpha) \bmod \mathbb{Z}$$

証明は due to Daemi

§8 KM のホモロジーとの関係

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$I^\omega(Y, L)$: KM のフレアホモロジー
 $I^\#(Y, L), I^q(Y, L)$

定義

admissible link (Y, L, ω)

L : *unoriented link in* Y

$\omega \subset Y$; *arc connecting two points in* L s.t.

$\Sigma \subset Y$: 閉曲面

次のどちらかが成り立つ。

1 Σ は L と *disjoint union* で ω と奇数回で交わる

2 Σ は L と *transverse* と奇数回交わる。

(*non-integral condition*)

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$$C^\omega(Y, L) = \bigoplus_{\alpha \in \mathfrak{C}_\pi} \mathbb{Z} \cdot \alpha$$

$\tilde{C}(Y, K) \simeq C^{\natural}(Y, K)$ はチェインホモトピー同値。

$$I^{\natural}(Y, K) = I^\omega(Y, L \# H)$$

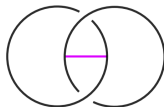


Figure 13: The Hopf link H with the arc ω .

特に、 $I_*^{\natural}(Y, I) : \text{KM の } \mathbb{Z}/4\text{-grading ホモロジー}$

$$I^\#(Y, L) = I^\omega(Y, L \sqcup H)$$

$$v : C_*^\omega \rightarrow C_{*-2}^\omega$$

holonomy を使ったアナロジー。 v は d と可換

$$(\tilde{C}(Y, L), \tilde{d})$$

を

$$\tilde{C}(Y, L) = C_*^\omega \oplus C_{*-2}^\omega$$

$$\tilde{d} = \begin{bmatrix} d & 0 \\ v & -d \end{bmatrix}$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

定理

$$\begin{aligned}\tilde{C}^{\omega'}(Y \# Y', K \# L') &\cong \tilde{C}(Y, K) \otimes \tilde{C}^{\omega'}(Y', L') \\ \tilde{C}^{\omega \cup \omega'}(Y \# Y', K \# L') &\cong \tilde{C}^{\omega}(Y, K) \otimes \tilde{C}^{\omega'}(Y', L')\end{aligned}$$

定理

$$\tilde{I}(Y, K) \simeq I^{\natural}(Y, K)$$

が成り立つ。この同型は、 $\sigma(K)$ の *degree* をもつ。

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

proof

$$C^{\natural}(Y, K) = C^{\omega}(S^3 \# Y, H \# K) \\ \simeq \tilde{C}^{\omega}(S^3, H) \otimes \tilde{C}(Y, K)$$

ここで $\tilde{C}^{\omega}(S^3, H)$ は one generator であり、zero differential v -map も zero

$$\text{よって、} \tilde{C}^{\omega}(S^3, H) = \mathbb{Z} \oplus \mathbb{Z}(\text{trivial diff}) \\ \tilde{C}^{\omega}(S^3, H) \otimes \tilde{C}(Y, K)$$

は、 $\tilde{C}(Y, K)$ のゼロ map に関する mapping cone
 $\tilde{C}^{\omega}(S^3, H) \otimes \tilde{C}(Y, K) \simeq \tilde{C}(Y, K)$

$$\tilde{C}_*(Y, K) = C_*(Y, K) \oplus C_{*-1}(Y, K) \oplus \mathbb{Z}$$

$$\chi: \tilde{C}_*(Y, K) \rightarrow \tilde{C}_*(Y, K)$$

ここで

$$\chi = \begin{bmatrix} 0 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 \end{bmatrix}$$

定理

$$C^\#(Y, K) \simeq \text{Cone}(2\chi)$$

R : 環
 $(\tilde{C}_*, \tilde{d}, \chi) : S$ -複体

$$\hat{C}_* = \tilde{C}_* \times_R R[x], \quad \hat{d} = -\tilde{d} + x \cdot \chi$$

$\varphi : R[x] \rightarrow S$: 環準同型 (S :環)

$$\hat{C}_*^\varphi = S \otimes_R \tilde{C}_*, \quad \hat{d}^\varphi(s \cdot \zeta) = -s \cdot \tilde{d}\zeta + \varphi(x)s \cdot \chi(\zeta)$$

ex) $\varphi : R[x] \rightarrow R$ $\phi : x \mapsto 0$ とすると、 $\hat{C}_*^\phi = \tilde{C}_*$

命題

$\phi : \mathbb{Z}[x] \rightarrow \mathbb{Z}[x]/(x^2)$ を $\phi(x) = 2x$ とすると、

$$C_*^\#(Y, K) \cong \hat{C}_*^\phi(Y, K)$$

他にもいくつか $\hat{I}$ と $I^\#$ などの同型を作っている。

コンコードانس不変量

$$s^{\#}(K), z_{BN}^{\natural}(K), z^{\#}(K)$$

と我々の関係はどうなるのか？

問題

$s^{\#}(K), z_{BN}^{\natural}(K), z^{\#}(K)$ は我々の不変量 S 複体 $\tilde{C}(Y, K, \Delta_T)$ の *local equivalence class* で決定できるか？

関係はわからないが、そのレシピを与えている。

§9 計算例

$\mathfrak{C}(K) = \mathfrak{C}(S^3, K)$ (singular CS 汎関数の critical set)

$$\mathcal{X}(Y) = \{\rho : \pi_1(Y) \rightarrow SU(2)\} / SU(2)$$

$\mathcal{X}(Y)$ は $\mathfrak{C}$ と同一視される。

$\tau : \Sigma \rightarrow \Sigma$ (involution)

$P \rightarrow \Sigma$ $SU(2)$ -束

$\mathfrak{g}_E$ adjoint bundle

$\tilde{\tau} : \mathfrak{g}_E \rightarrow \mathfrak{g}_E$: lift of τ

$\check{\mathfrak{g}}_K = \mathfrak{g}_\Sigma / \tilde{\tau} : SO(3)$ -orbifold bundle over (S^3, K)

$\mathfrak{C}^\tau(\Sigma) \subset \mathfrak{C}(\Sigma) : \tilde{\tau}$ によって固定される部分集合

$$\Pi : \mathfrak{C}(K) \rightarrow \mathfrak{C}(\Sigma)^\tau \quad (\text{surjection})$$

は、次の分解をもつ

$$\Pi : \mathfrak{C}(K) \rightarrow \mathfrak{C}(K) / \iota \xrightarrow{\text{bij}} \mathfrak{C}(\Sigma)^\tau$$

$$\Pi^{-1}(\theta_{\Sigma}) = \theta$$

ι : フリップ対称性

Σ 上に既約な接続で引き戻される flat 接続には自由に作用: 可約な flat 接続では自明に作用

モジュライ空間上の ι 作用

$$\alpha_{\Sigma}, \beta_{\Sigma} \in \mathcal{C}(\Sigma)^{\tau}$$

として、 $\Pi(\alpha) = \alpha_{\Sigma}, \Pi(\beta) = \beta_{\Sigma}$ とする。このとき、 $\mathbb{R}$ -不変な対称性

$$\iota: M(\alpha, \beta) \rightarrow M(\iota\alpha, \iota\beta)$$

が存在する。 α, β がどちらかが可約の場合、

$$(\check{M}(\alpha, \beta) \cup \iota(\check{M}(\alpha, \beta))) / \iota = \check{M}(\alpha_{\Sigma}, \beta_{\Sigma})^{\tau}$$

α, β のどちらも既約な場合、

$$(\check{M}(\alpha, \beta) \cup \iota(\check{M}(\alpha, \beta)) \cup \check{M}(\iota\alpha, \beta) \cup \check{M}(\alpha, \iota\beta)) / \iota = \check{M}(\alpha_{\Sigma}, \beta_{\Sigma})^{\tau}$$

2-bridge knot の場合

Daemi-
Scaduto's
papers

(p, q) : 互いに素な整数

p : 奇数

$K_{p,q}$ の double cover が $L(p, q)$ となる。

$$\mathfrak{C}(L(p, q)) = \{\xi_{L(p,q)}^i \mid i = 1, 2, \dots, (p-1)/2\}$$

$\xi_{L(p,q)}^i$: flat $SU(2)$ -接続

$$\pi_1(L(p, q)) = \mathbb{Z}/p \rightarrow SU(2)$$

$$\xi_{L(p,q)}^i : [\text{generator}] \mapsto \begin{pmatrix} \zeta^i & 0 \\ 0 & \zeta^{-i} \end{pmatrix}$$

$\zeta:1$ の原始 p 乗根

$$S^3 \rightarrow L(p, q) \rightarrow (S^3 \cdot K_{p,k})$$

$$(z_1, z_2) \mapsto (\zeta z_1, \zeta^q z_2), (z_1, z_2) \mapsto (\bar{z}_1, \bar{z}_2)$$

(Dihedral group D_{2p} quotient)

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所系係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$\xi_{L(p,q)}^i$ は可約 flat であるから、唯一のリフト ξ^i が存在する。

$$\xi^i \rightarrow \xi_{L(p,q)}^i$$

ξ^i は既約な接続

$$\mathfrak{C} = \{\theta\} \cup \{\xi^i | 1 \leq i \leq (p-1)/2\}$$

$\theta = \xi^0$: 可約 flat 接続

$$C(K_{p,q}) = \bigoplus_{i=1}^{(p-1)/2} \mathbb{Z} \cdot \xi^i$$

$$\tilde{C}(K_{p,q}) = C(K_{p,q}) \oplus C_{*-1}(K_{p,q}) \oplus \mathbb{Z}$$

$\tilde{d} = 0$ and $d, v, \delta_1, \delta_2 = 0$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィル
トレーション

§8 KM のホ
モロジーと
の関係

§9 計算例

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

命題

$K_{p,q}$ を任意の 2-bridge 結び目とする。このとき、 $h(K_{p,q}) = 0$ である。

$\mathfrak{C}(L(p, q))$ の任意の元は τ で固定される。(Poudel, Saveliev)

$$\mathfrak{C}(L(p, q))^\tau = \mathfrak{C}(L(p, q))$$

$\mathbb{R} \times L(p, q)$ のモジュライ空間

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

Austin, "Equivariant Floer groups for binary polyhedral spaces"

Furuta, " Z_a -invariant $SU(2)$ instantons over the four sphere"

Furuta, Hashimoto, "Invariant instantons on S^4 "

$$a + qb \equiv 0 \pmod{p} \quad (2)$$

$$N_1(k_1, k_2; p, q) = \#\{(a, b) \in \mathbb{Z}^2 \text{ with } (2) \mid |a| < k_1, |b| < k_2\}$$

$$N_2(k_1, k_2; p, q) = \#\left\{(a, b) \in \mathbb{Z}^2 \text{ with } (2) \mid \begin{array}{l} |a| < k_1, |b| = k_2 \text{ or} \\ |a| = k_1, |b| < k_2 \end{array} \right\}$$

命題

$0 \leq i, j \leq (p-1)/2, i \neq j$ とする。

$k_1, k_2 \in \mathbb{Z}_{>0}$ と $\epsilon_1, \epsilon_2 \in \{1, -1\}$ が存在して、

$$\begin{cases} k_1 \equiv \epsilon_1 i + \epsilon_2 j \pmod{p}, & qk_2 \equiv -\epsilon_1 i + \epsilon_2 j \pmod{p} \\ N_1(k_1, k_2, p, q) = 1, & N_2(k_1, k_2, p, q) = 0 \end{cases} \quad (3)$$

を満たすとき、

$$\check{M}(\xi_{L(p,q)}^i, \xi_{L(p,q)}^j)_0 = \{pt\}$$

そうでなければ、

$$\check{M}(\xi_{L(p,q)}^i, \xi_{L(p,q)}^j) = \emptyset$$

$[A'] : \mathbb{R} \times L(p, q)$ 上のインスタントンが存在するとき、

$$\kappa(A') = \frac{1}{8\pi^2} \int_{\mathbb{R} \times L(p, q)} \text{tr}(F_{A'} \wedge F_{A'}) = \frac{1}{p} \cdot c_2(\tilde{E}) = \frac{k_1 k_2}{p}$$

ここで、 $\tilde{E} \rightarrow S^4$ は $\mathbb{R} \times S^3$ の拡張
pullback は、埋め込み

$$(\check{M}(\xi_{L(p, q)}^i, \xi_{L(p, q)}^j)_{\frac{d}{2}}) / \iota \hookrightarrow \check{M}(\xi_{L(p, q)}^i, \xi_{L(p, q)}^j)_d$$

を誘導する。

$\mathbb{R} \times (S^3, K_{p,q})$ 上のモジュライ空間

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

系

$0 \leq i, j \leq (p-1)/2, i \neq j$ とする。

$$\check{M}(\xi^i, \xi^j)_0 = \emptyset \Leftrightarrow \check{M}(\xi_{L(p,q)}^i, \xi_{L(p,q)}^j)_0 = \emptyset$$

$\check{M}(\xi^i, \xi^j)_0 \neq \emptyset$ であるとする、それは 2 点であり、向きは逆

$\because d, \delta_1, \delta_2$ は消える。

局所係数を持つ d, δ_1, δ_2 の計算するために以下を与えておく。

命題

$\check{M}(\xi^i, \xi^j)_0 \neq \emptyset$ と仮定する。それは、 $\{[A], \iota([A])\}$ であり、

$$\{\nu([A]), \nu(\iota([A]))\} = \begin{cases} \{0\} & k \equiv 0 \pmod{2} \\ \{2, -2\} & k \equiv 1 \pmod{2} \end{cases}$$

$$(C_*(K_{p,q}, \Delta \otimes \mathbb{F}), d)$$

$$\mathcal{R} \otimes \mathbb{F} = \mathbb{F}[U^{\pm 1}, T^{\pm 1}]$$

$$C_*(K_{p,q}, \Delta \otimes \mathbb{F}) = \bigoplus_{i=1}^{(p-1)/2} U^{c_i} \cdot \mathbb{F}[U^{\pm 1}, T^{\pm 1}] \cdot \xi^i$$

$1 \leq i \leq (p-1)/2, j = 1, (3)$ の解が存在するとする。 c_i は ξ^i に associated された CS-invariant

$$c_i = -2k_1 k_2 / 2p = -k_1 k_2 / p$$

より

$$gr(\xi^i) \equiv N_1(k_1, k_2, p, q) + \frac{1}{2} N_2(k_1, k_2, p, q) \bmod 4$$

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

$0 \leq i, j \leq (p-1)/2, \quad i \neq j$ に対して、 $a_{ij} \in \mathbb{F}[U, T^{\pm 1}]$ を

$$a_{ij} := \begin{cases} U^{-k_1 k_2 / p} (T^2 - T^{-2}) & \exists k_1, k_2 \in 2\mathbb{Z}_{\geq 0} + 1, (3) \text{ を満たす} \\ 0 & \text{それ以外} \end{cases}$$

とすると、

$$\langle d\xi^i, \xi^j \rangle = a_{ij}, \quad \delta_1(\xi^i) = a_{i0}, \quad \langle \delta_2(1), \xi^i \rangle = a_{0i}$$

実際どのような値になるかよくわからない

笹平の不変量との関係

Daemi-
Scaduto's
papers

$$\mathbb{F} = \mathbb{Z}/2$$

$$C_*(L(p, q), \mathbb{F}) = \bigoplus_{i=1}^{(p-1)/2} \mathbb{F} \cdot \xi_{L(p, -q)}^i$$

$$\mathbb{F}_4 := \mathbb{F}[x]/(x^2 + x + 1) : 4 \text{ 元体}$$

$$f : \mathbb{R}[U^{\pm 1}, T^{\pm 1}] \rightarrow \mathbb{F}_4 \text{ を}$$

$$f(U) = 1, f(T) = x \text{ と定義すると } f(T^2 - T^{-2}) = 1 \text{ であるから、} \mathbb{F}_4 \text{ は } \mathcal{R} \text{ 代数}$$

定理

$(C_*(K_{p,q}), \Delta_{\mathbb{F}_4}), d)$ は $C_*(L(p, -q) \otimes \mathbb{F}_4, d)$ と同型である。
よって、

$$I_*(K_{p,q}, \Delta_{\mathbb{F}_4}) \cong I_*(L(p, -q)) \otimes \mathbb{F}_4$$

笹平不変量から $I_*(L(8k+1, 2)) = 0$ より、

$$h_{\mathcal{S}}(K_{8k+1, -2}) = 0$$

$\mathcal{S}$: 任意の $\mathcal{R}$ -代数

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

trefoil 結び目の場合

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$\mathcal{R} = \mathbb{Z}[U^{\pm 1}, T^{\pm 1}]$ とする。

$3_1 = K_{3,-1}$ (2-bridge 結び目) によって、 $c_1 = -k_1 k_2 / p = -1/3$,
より、

$$C_*(K_{3,-1}, \Delta) = U^{c_1} \mathcal{R} \xi^1$$

$$\delta_1(\xi^1) = \pm U^{1/3} (T^2 - T^{-2})$$

$$\delta_2 = 0$$

$$\tilde{C}_* = \tilde{C}_*(K_{3,-1}, \Delta)$$

$$\tilde{C}_* = (U^{-1/3} \mathcal{R} \xi^1) \oplus (U^{-1/3} \mathcal{R} \chi \xi^1) \oplus \mathcal{R} \cdot \theta$$

$$\tilde{d} = \begin{bmatrix} 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 \\ \pm U^{1/3} (T^2 - T^{-2}) & 0 & 0 \end{bmatrix}$$

$$\mathfrak{J} = (T^2 - T^{-2})x^{-1} + \mathcal{R}[x] \subset \mathcal{R}[[x^{-1}, x]]$$

$$J_1^{\mathcal{R}} = (T^2 - T^{-2}), J_i^{\mathcal{R}} = 0 \ (i \geq 2), J_i^{\mathcal{R}} = \mathcal{R} \ (i \leq 0)$$

定理

right handed trefoil のとき、 $h_{\mathcal{J}} = 1$

$$\Gamma_{K_{3,-1}}^R(k) = \begin{cases} 0 & k \leq 0 \\ 1/3 & k = 1 \\ \infty & k \geq 2 \end{cases}$$

他にもいろいろ計算できる。

$T(3, 5)$ の場合

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$K = T(3, 5)$ とする。

$\Sigma(2, 3, 5) \rightarrow (S^3, K) : \text{double branched cover}$

$\alpha_\Sigma, \beta_\Sigma \in \mathfrak{C}(\Sigma) : gr(\alpha_\Sigma) = 1, gr(\beta_\Sigma) = 5$

$$C_*(\Sigma) = \mathbb{Z}_{(1)} \oplus \mathbb{Z}_{(5)} = I_*(\Sigma)$$

$\theta_\Sigma : \text{trivial connection}$

$$\mathfrak{C}(\Sigma)^\tau = \mathfrak{C}(\Sigma)(\text{Saveliev})$$

$$\alpha, \iota\alpha, \beta, \iota\beta$$

$$\tilde{C}_*(K) = (\mathbb{Z}_{(1)}^2 \oplus \mathbb{Z}_{(5)}^2) \oplus (\mathbb{Z}_{(0)}^2 \oplus \mathbb{Z}_{(4)})^2 \oplus \mathbb{Z}_{(0)}$$

$$S^3 \rightarrow \Sigma(2, 3, 5) \rightarrow (S^3, T_{3,5})$$

いろいろ (同変 ADHM、Austin の結果、 $\check{M}(\alpha_\Sigma, \theta_\Sigma) = \{[A']\}$)
使うと $\delta_1 : \mathbb{Z}_{(1)}^2 \rightarrow \mathbb{Z}$ は non-zero

$$\tilde{d} = \begin{bmatrix} 0 & 0 & 0 \\ v & 0 & 0 \\ \delta_1 & 0 & 0 \end{bmatrix}$$

命題

$$h(T_{3,5}) = 1$$

トーラス結び目

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タント同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

Fintushel-Stern の仕事

$\Sigma = \Sigma(p, q, r)$: ブリースコーンホモロジー球面 (p, q, r がどの
2 つにも互いに素)

$$I_*(\Sigma(p, q, r))$$

$\mathfrak{C}(\Sigma)$: (unperturbation で) non-degenerate,
odd-grading ($\leadsto d = 0$)

$$C_*(\Sigma) = I_*(\Sigma)$$

p, q : odd

$\Sigma(p, q, 2) \rightarrow (S^3, T(p, q))$: double branched cover

$$I(T_{p,q}) = \mathbb{Z}^{-\sigma(T_{p,q})/2}$$

$$\mathfrak{C}(K)^\tau = \mathfrak{C}(K) \quad (\text{Saveliev})$$

$$\text{よって、} I_*(K) = C_*(K)$$

$h(K)$ が消える条件

Daemi-
Scaduto's
papers

§1 導入

§2 特異 $SU(2)$
ゲージ理論の
復習

§3 フレアホモ
ロジー

§4 特異インス
タントン同変
不変量

§5 同変不変量

§7 局所係
数・フィルト
レーション

§8 KM のホモ
ロジーとの
関係

§9 計算例

Daemi
Scaduto

$\Delta_K(t) = \sum_{i \in \mathbb{Z}} a_i t^i$ のときに、

$$|\Delta_K(t)| = \sum_{i \in \mathbb{Z}} |a_i|$$

とする。

定理 (singular instanton=sutured instanton Floer)

$$I^{\natural}(K, \mathbb{Q}) \cong KHI(K, \mathbb{Q})$$

$$\chi(KHI(K, \mathbb{Q})) = \Delta_K(t)$$

$$\text{rank}(I^{\natural}(K)) \geq |\Delta_K(t)|$$

$H_*(\tilde{C}_*) = I^{\natural}(K)$ であるから $\frac{1}{2}(|\Delta_K| - 1)$ のとき、 $\tilde{C}_*$ の全ての differential が zero

特に、 $\delta_1 = \delta_2 = 0$ となる。よって、 $h(K) = 0$ となる。

つまり、

$$\mathcal{X}(K) = |\mathfrak{C}_\pi(K)| = \frac{1}{2}(|\Delta_K| + 1|)$$

命題

$K = T(p, q) : (p, q)$ -トーラス結び目 $((p, q) = 1)$
もし、 $1 + |\sigma(K)| = |\Delta_K|$ なら、 $h(K) = 0$ となる。

例えば、

$(p, 2pk + 2), k \geq 1, p \equiv 1 \pmod{2}$

$(p, 2pk \pm (2 - p)), k \geq 1, p \equiv \pm 1 \pmod{4}$

などの族はこの条件を満たす。

$K \subset S^3$: 結び目

定義 (4 次元 clasp 数)

$c_s(K)$: 4-dimensional clasp number

$D \subset B^4$: normally immersed disk の交点数の最小数

$\Leftrightarrow$ transverse double point のみの immersed disk

$c_s^+(K)$ positive double point の最小数

$c_s^-(K)$ negative double point の最小数

$$c_s(K) \geq c_s^+(K) + c_s^-(K)$$

$c_s(K) \geq g_s(K)$

$g_s(K)$: 4-ball genus (埋め込まれた曲面の最小種数)

問題

$c_s(K) - g_s(K)$ はいくらでも大きくなるか？

定理

$$K_1 = 7_4$$

$$K_n = \#nK_1$$

$$c_s^+(K_n) - g_s(K_n) \geq n/5$$

Daemi-Scaduto の

$$\Gamma_K : \mathbb{Z} \rightarrow \mathbb{R}_{\geq 0} \cup \{\infty\}$$

を用いて示される。

c.f. 村杉の不等式： $g_s(K) \geq |\frac{1}{2}\sigma(K)|$

$$g_s(K_n) = n, \sigma(K_n)/2 = -n$$

定理

$K \subset S^3$ に対して、もし、 $-\sigma(K)/2 \geq 0$ なら

$$\Gamma_K \left(-\frac{1}{2}\sigma(K) \right) \leq \frac{1}{2}c_s^+(K)$$

定理

$\mathcal{T} = \mathbb{Z}[U^{\pm 1}, T^{\pm 1}]$ とする。
 $K \subset S^3$: 結び目に対して、

$$h_{\mathcal{T}}(K) = -\frac{1}{2}\sigma(K)$$

である。 $K \subset Y$ が *null-homotopic knot* とするとき、

$$h_{\mathcal{T}}(Y, K) = -\frac{1}{2}\sigma(Y, K) + 4h(Y)$$

$\mathcal{T}$ が $T^4 = 1$ を満たす代数のとき、

1 K が alternating, or quasi-alternating なら $h_{\mathcal{T}}(K) = 0$

2 漸化式

$$h_{\mathcal{T}}(T_{p,p+q}) - \sigma(T_{p,q}) = h_{\mathcal{T}}(T_{p,q}) + \frac{1}{2}\sigma(T_{p,q}) - \lfloor \frac{p^2}{4} \rfloor$$

が成り立つ。

系

$\mathcal{T}$ を $T^4 \neq 1$ を満たす代数

$K \subset S^3$ かつ $\sigma(K) \leq 0$ を満たすとする。そのとき、

$$rk(i_1(K, \Delta_{\mathcal{T}})) \geq \lceil -\frac{\sigma(K)}{4} \rceil, \quad rk(l_3(K, \Delta_{\mathcal{T}})) \geq \lfloor -\frac{\sigma(K)}{4} \rfloor$$

定理

$T_{p,q} : (p, q)$ -トーラス結び目このとき、

$$I_*(Y, K) = \mathbb{Z}_{(1)}^{\lceil -\sigma(T_{p,q})/4 \rceil} \oplus \mathbb{Z}_{(3)}^{\lfloor -\sigma(T_{p,q}) \rfloor}$$

$D_{m,n}$: double twist knot

$$g_s(D_{m,n}) = 1 = -\sigma(D_{m,n})/2$$

定理

$k \geq 0$ に対して

$$c_s^+(kD_{m,n}) - g_s(kD_{m,n}) \geq \frac{k(4mn - 4m - 4n + 3)}{4mn - 1}$$

もし、 $m, n \geq 2$ なら

$$c_s^+(kD_{m,n}) - g_s(kD_{m,n}) \geq Ck$$

$K \subset S^3$: 結び目

K が自明でなければ、non-trivial representation

$$\pi_1(S^3 \setminus K) \rightarrow SU(2)$$

が存在する。

問題

$F \subset S^4$: 結び目

このとき、 F が自明でなければ、non-trivial representation

$$\pi_1(S^4 \setminus F) \rightarrow SU(2)$$

をもつか？

定理

$\sigma(K) \neq 0$ となる結び目

$S \subset [0, 1] \times S^3 : K$ から K への *smooth concordance*
このとき、

$$\pi_1([0, 1] \times S^3 \setminus S) \rightarrow SU(2)$$

は *non-abelian representation* をもつ

$\mathcal{C}_{\mathbb{Z}}$: ホモロジーコンコードانس類の集合

$\mathcal{C}$: コンコードانس類の集合

$$\mathcal{C} \rightarrow \mathcal{C}_{\mathbb{Z}}$$

$$\Theta_{\mathbb{Z}}^3 \rightarrow \mathcal{C}_{\mathbb{Z}}$$

$$Y \mapsto (Y, \text{unknot})$$

$\mathcal{T} : \mathbb{Z}[U^\pm, T^\pm]$ 上の整域

$h_{\mathcal{T}} : \mathcal{C}_{\mathbb{Z}} \rightarrow \mathbb{Z}$

定理

$(W, S) : (Y, K) \rightarrow (Y', K')$

ホモロジーコンコードانس

$K \subset Y$ が *null-homotopic* とし、 $-\frac{1}{2}\sigma(Y, K) + 4h(Y) \neq 0$ とする。

$\pi_1(Y \setminus K)$ と $\pi_1(Y' \setminus K')$ の *non-abelian traceless* 表現を拡張する *traceless* 表現

$$\pi_1(W \setminus S) \rightarrow SU(2)$$

が存在する。

Traceless 表現 : S の normal bundle の各ファイバーが $SU(2)$ の traceless な元に移る。

定理

$\mathcal{T}$ に対して、 $T^4 = 1$ であるとする。 $K \subset S^3$ とする。 *properly embedded surface in B^4* とする。このとき、

$$|h_{\mathcal{T}}(K) + \frac{1}{2}\sigma(K) - \frac{1}{4}S \cdot S| \leq b_1(S)$$

$S \cdot S$ は S の normal bundle のオイラー数

定理

$\mathcal{T}$ において $T^4 = 1$ であるとき、 $K \subset S^3$ のとき、

$$|h_{\mathcal{T}}(K)| \leq \gamma_4(K)$$

clasp number

γ_4 結び目 K に対して、 $K = \partial S \subset B^4$ となる non-orientable surface の S が存在したときの最小 b_1